

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnoble

Gno G-let

グノレット

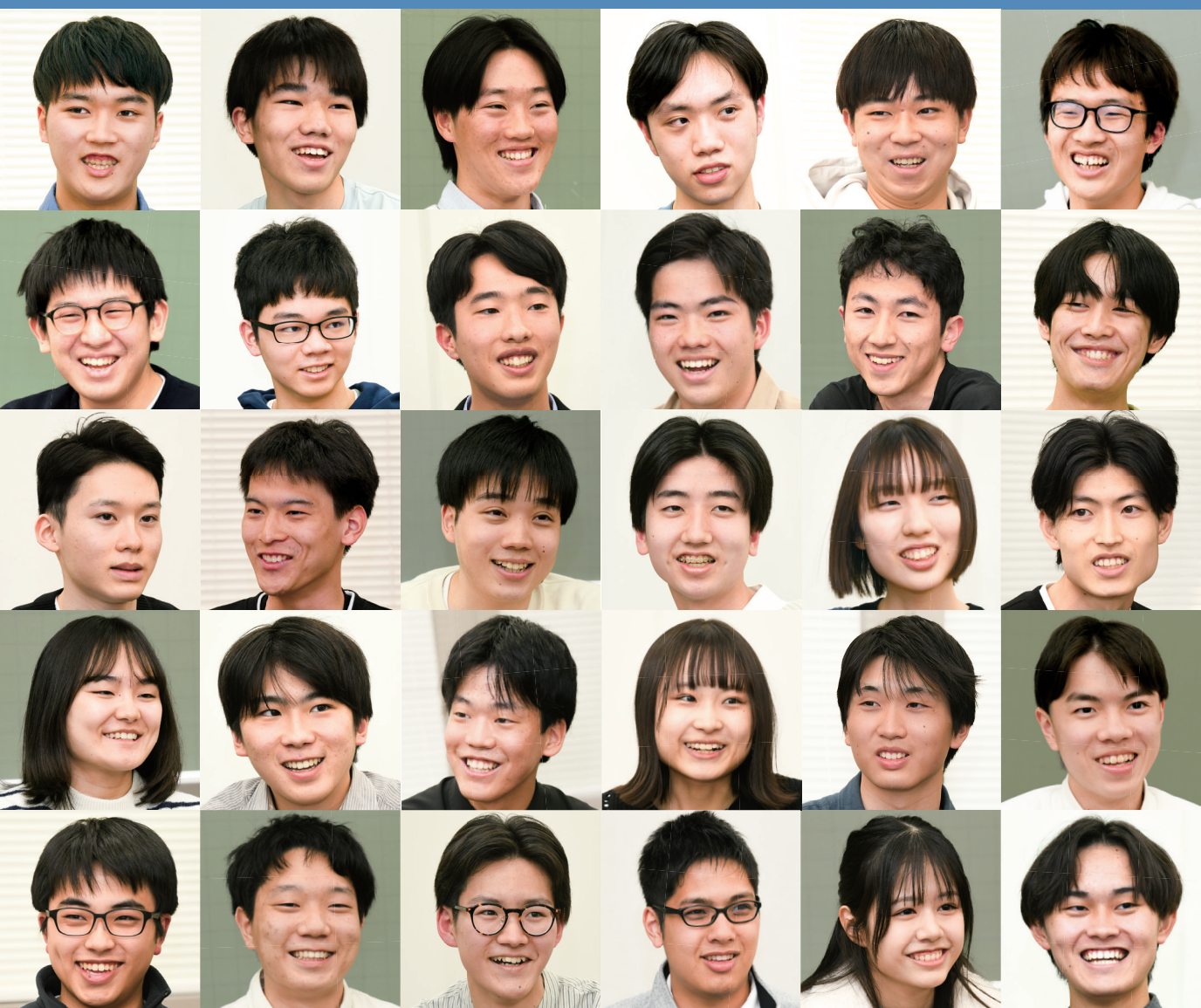
保存版

vol.29

2024年6月発行

東大
難関大・医学部
合格特集号

中学受験グノーブル卒生
インタビュー併載



グノーブルを活かし、最大の効果を上げるヒント満載。

18期生の合格者インタビュー特集。

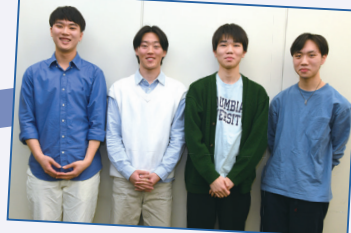


Gnoble GROUP

Gno's Highlight

グノの英語は授業内で演習する時間がちゃんとあって、解説も先生と生徒がやりとりしながら進みます。グノのやり方がとても良かったので、高3からは国語と数学もグノに変えました。

福島 琉斗さん（東大文Ⅱ・芝）
Part 1 1ページより



ものすごく楽しみながら受けられる授業がグノの国語でした。私たちが演習した問題を先生が解説してくださいます。その解説の具体例がすごく面白いし、分かりやすくて、教室には笑いが絶えませんでした。

谷本 温子さん（東大文Ⅱ・筑波大附属）
Part 3 25ページより



グノに入ったのは中学1年生です。6年間お世話になりました。グノでは学校の授業や部活、課外活動などちゃんと両立できたり、全部の教科をバランス良く勉強できました。

宇田川 楽さん（東大理Ⅰ・開成）
Part 2 9ページより

数学では「テーマタグ」という考え方を教わりました。具体的には、「何をテーマにした問題なのか？」を理解してタグ付けをしていくことで、解き方を思いつきやすくなるという考え方で、自分にはぴったりでした。

林 亮成さん（東大理Ⅱ・麻布）
Part 5 37ページより



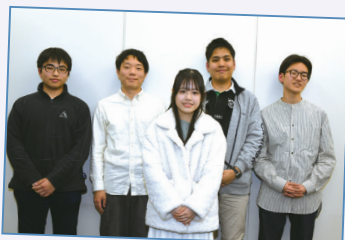
グノでは毎週、「この時間でちゃんと集中して読んで考える」という意識を持って演習する機会がありました。集中して解く習慣づくりを高1から3年間でできたのは、当たり前のように当たり前ではなかったのかもしれない。

鈴木 惺太さん（順天堂大医・海城）
Part 7 52ページより



先生方はいつも生徒一人ひとりを気にかけてくださっていると感じていました。どの生徒にも気を配ってくださいます。それは、添削のコメントにも感じられます。私は、中学受験でも大学受験でも良い先生に恵まれたと思っています。

池内 寧々さん（東京医科歯科大医・桜蔭）
Part 4 32ページより



横浜校は、まだ歴史は浅いのですが、結びつきがすごく強かったです。先生たちはもちろん、受付の人たちにも名前を覚えてもらっていました。横浜校はアットホームで、安心感もあって、勉強に集中できました。後輩たちにも、絶対にグノを信頼して頑張ってもらいたいと思います。

都知木 勇人さん（京都市大工・駒場東邦）Part 6 47ページより



CONTENTS

18期生 合格者インタビュー

Part1	 P 1 - 8
Part2	 P 9 -18
Part3	 P19-28
Part4	 P29-32
Part5	 P33-40
Part6	 P41-48
Part7	 P49-54

2024 年東京大学・難関大学・医学部合格者インタビューをお届けします。

膨大な情報量になっていますが、グノーブルを活かして最大の効果を上げるためのヒントがぎっしり詰まっていると思います。これから大学受験をされる皆さんには、マーカー類を片手に、気になる発言や参考になりそうな箇所印をつけながら全編に目を通すことをおすすめします。

勉強を進めていく時に大切なことは、先輩の体験や先生の助言を参考にしながら、徐々に自分に合った勉強法を確立していくことです。このグノレットの中に、お手本にできることがあれば、ぜひお試しください。

また、勉強に行き詰まったり、気持ちが折れそうになったり、迷いが生じることもあるでしょう。そんな時には、改めてこのグノレットを開いて先輩たちの声に耳を傾けてみてください。きっと勇気をもらえそうです。

2024 年6月 グノレット編集部

18期生合格者 インタビュー

Part 1



中学受験グノーブル卒生



K.S.さん
東大文 I・駒場東邦

※ご本人の希望により、イニシャル表記にしています。



さとう りょう い
佐藤 諒以さん
東大文 I・栄光



ふくしま りゅう と
福島 琉斗さん
東大文 II・芝



ふじわら り ひと
藤原 理人さん
東大文 I・芝

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

グノーブル入塾のきっかけ

佐藤：小学3年生ぐらいの時に中学受験グノーブルに入って、そこで中学受験が終わるまでお世話になりました。

中学に入って中1、2年の頃は大学受験をまだ考えていなくて、部活をやったり課外活動をやったりと忙しくしていました。中3から本格的に大学受験を意識し始めて、「どの大学を受けるか？」と考えた時、中学受験でお世話になった縁があって、グノの講習を受けました。とても楽しくて、「やっぱりグノが良い」と英語で入りました。

僕は中学受験グノーブルの5期生で、黎明期にお世話になっていま



K.S.さん
東大文 I・駒場東邦

した。成城学園校に所属していましたが、少人数で密度の高い授業を受けられました。これが自分には合っていました。先生方が小学生にも、知的好奇心を高める授業をしてくださったのが印象的でした。

大学受験グノーブルの授業でも、大学受験にとどまらない、文化的なレベルの高い教材が多くありました。受験という枠を超えて知的好奇心を高める授業が一貫して行われていると感じています。

K.S.：中学生の頃は、水泳を部活だけでなくクラブチームでもやっていて、時間がなくてずっと塾に行っていませんでした。

高2に入ってから英語の塾を検討し始めました。多くの人が通っていた塾の英語は機械的というか、教材を見た感じも受験特化で、しかも「進みが速い」と聞いていました。何人かの友達と話しているとグノーブルが楽しいという声が聞こえてきて、何より、宿題が少なく水泳と両立できると思い、それが決め手になってグノに入りました。

福島：中学の時は、学校での成績も下から数えたほうが早かったぐらいでした。でも、そこから大学

受験に向けて勉強したいという気持ち湧いてきたのと、以前、2つ上の姉がグノーブルにお世話になって、「英語がすごく良い」と聞いていたり、それから母親の勧めもあったので、高1の春に英語でグノに入りました。

高1と高2の間は大手予備校で国語と数学をとっていましたが、成績は全然上がりませんでした。しかも、そこは、大教室で50人から100人ぐらいに授業をする一方向的な集団授業です。授業中は先生の解説を聞いているだけでした。

一方、グノの英語は授業内で演習する時間がちゃんとあって、解説も先生と生徒がやりとりしながら進みます。グノのやり方がとても良かったので、高3からは国語と数学もグノに変えました。

藤原：高1の春に春期講習を受けて、僕もグノの双方向のところが好きでした。中学受験の時に通った塾で先生とやりとりするやり方に慣れ親しんでいたのですが、グノはそれと同じ雰囲気でした。

実は、その頃、受験のことは全く意識していなくて、親からの勧めで「塾に行こうかな」と思っただけでした。でも、グノの勉強がす

ぐに気に入りました。

グノーブルに通ってみて

藤原：グノが際立っているところは、授業が時間ぴったりに終わらずに、その日の予定が終わるまで授業を続けてくれることです。勉強は復習で身につくと思うので、区切りがつくところまで教えてもらえるのは、復習がしやすくて良かったです。

それに、「時間が来たから、あとは自分たちで」とならず、先生のテンションというか、熱意がずっと変わらずに僕たちに伝わってくるのが本当に嬉しかったです。

福島：僕が以前通っていたところの授業は50分と結構短いのに、先生の解説をずっと聞いているので、授業中に眠くなることもあり

ました。グノの場合、指名されるのと、解説が面白くて刺激を受けられるので集中力が長続きしましたし、良い緊張感がありました。

K.S.：他でよくある英語の教材は、パワーッと英文が書いてあって、分厚くて、授業では、それを機械的に解説されるわけです。グノでは、単語も語源からしっか

り教えてくれます。黒板に描かれる絵や先生のジェスチャーとも結びついて知識がその場で頭に入るので、人間味が感じられます。

しかも、授業中に演習するので予習する必要がほとんどありません。

だから、英語に関しては、自分が勉強したいところや弱いところを自分で振り分けられて、勉強の自由度が高かったと思います。

佐藤：予習が少ない分、復習に時間を充てられます。

しかも、グノの復習ですごく英語力が伸びました。演習した直後に解説を受けられたので理解が深まったからだと思います。

他には、授業内容として、いわゆる受験テクニックみたいなことを特に教わった記憶がなくて、根本的な英語の力や教養を教わった印象が強いです。「これを書いたら何点」とか「ここではこういうふうに解けば良いんだ」とか「この接続詞が来たらかう」とかの教わり方ではなくて、きちんと隅々まで読んで、論理の展開を把握して、答案に記述するという根本的な学力や考える力に重点を置いて教わりました。それを復習して体に染み込ませていくことで、「本当の

英語力がすごく伸びた」という実感がありました。

他塾との違いでまず目に見えて大きいのは、やはり単語帳を使っていないことです。周りの人は休み時間にも単語帳を読んでいたのですが、自分は単語帳を本当に1回もやったことがありませんでした。どちらのほうが英語を読めるかというと、自分のほうが読めていました。自信がついてからは「周りの人は非効率なことをやっている」と思うほどになりました。逆に自分だけがやっていたこともあり、グノで語源から解説されていたので英単語が単なるアルファベットの羅列ではなくなり、よく理解できている英文を音読する習慣が身についたの



さとう りょう い
佐藤 諒以さん
東大文 I・栄光



ふくしま りゅうと
福島 琉斗さん
東大文Ⅱ・芝

で、自分の中に英語の感覚が染みつきました。

「何をやったら一番合格に結びつくのか?」と考えると、グノを信じていれば、学力が上がる最短の経路を示してもらえますし、本質的な力を身につけさせてくれると思います。

K.S.: 僕は高1の時に単語帳を買ったままずっとやっていませんでした。高3でグノーブルに入ってから「この授業の感じだったら、単語帳をやらなくても覚えられな」と思っていました。入試直前に単語帳を1周してみました。が、全部の単語が分かったので、「語源からの解説のおかげで大丈夫だった」と安心できました。

福島: 自分も高1の夏に、K.S.君と同じ単語帳を買っていました。途中までやった時、分厚すぎて挫折気味になって放り出しました。その後は、グノの授業で単語力を身につけていきました。K.S.君と同じで、あとから単語帳を見たらしに身についている単語ばかりでした。語源を意識した単語の覚え方で、英語そのもののイメージもつ

かめたし、関連語も覚えやすかったし、グノのやり方ははるかに効率的で効果的でした。

藤原: 単語帳だけだったら絶対に覚えられない複雑な単語や、単語帳の最後のほうにある難単語も、グノの授業で語源から扱ってくれたので、すんなり覚えられました。

グノーブルの話題

佐藤: 僕は英語が得意でしたが、周りの人から「なんで単語帳をやっていないのに英語ができるのか」と聞かれて、「グノーブルに行っているからだよ」と話すことがよくありました。

家族には「授業が楽しい」とずっと言っていて、それは心から思っていました。

母にも、よく「授業が楽しい、ずっと通い続けたい」とよく伝えていました。両親も、中学受験でお世話になったグノに信頼感があって、グノに通っている自分を信頼して支えてくれました。

K.S.: グノに通っている友達と、先生の説明の仕方をまねたり、単語の語源を説明し合うことはよくありました。興味深かった教材の話もしていましたし、サミングアップ*の点数や音読のこと、音声教材のことも話題にしていました。

福島: 芝にもグノに通っている人がそれなりに多かったのが、クラス分けテストの結果で盛り上がり、やはり興味深かった英文の内容のことも話題にしていました。

サミングアップの点数も話題にして競い合っていました。サミングアップで10点を取れた時には嬉しくて、母親に自慢することがありました。

藤原: 僕もサミングアップの点数を友人と言い合うことはよくありました。あとは、授業で扱った英文の背景を先生が毎回話してくださっていましたが、そういう勉強以外の雑談も友人とシェアしていました。

グノーブルの英語

藤原: グノに入って英語は伸びました。

僕は高1からグノに通い始めたけれど、復習に本腰を入れたのは高2の秋ぐらいからでした。その時からきちんと音読をするようになりました。

グノで用意されるリーディングの分量はかなりの多いのですが、音読の効果が出始めてからは演習時間内に終わるようになって、なんなら時間が余るようになって、本当にグノの効果を感じていました。

授業では、受験を超えた、東大の英語よりも明らかにレベルが高い文章を使っていたこともあって、過去問を見た時に「思ったより簡単じゃない?」という感じがありました。

福島: 僕の英語力が伸びたのは100%グノのおかげです。グノの演習は結構タイトなので、制限時間内に終わることはあまりありませんでしたが、本番の良い

練習になっていました。今年の東大英語は難化したらしいですが、グノのおかげで難しく感じませんでした。

グノの英文は内容がとてもアカデミックです。いろいろなテーマが扱われて、中には抽象度が高くて読みづらいものもありました。東大の英語の文章より間違いなく難しかったと思います。それでも、先生の解説が巧みで、いつもすっきりとした状態で復習に移れました。

K.S.: 英語力の伸びは僕も実感していました。

最初のうちはサミングアップも全然点数を取れませんでした。黒板に先生がそのクラスの点数分布を書いてくださるのですが、毎回下のほうが自分の位置で(笑)。でも、気がついたらどんどん上位に入るようになっていました。あとは、タイトな時間で演習する中で、解けた問題の正当率が上がっていった、「これは絶対に伸びているな」と思いました。

将来的にも、グノで学んだ英語の読み方はすごく生きてくるだろうなと思います。英文を、日本語を介さずに語順のまま解釈できる力は特に大きいと思います。

単語も語源などを分かっているのに、知らない単語が出てきても「ここはこういう意味かな?」と推測してすぐに覚えられようになりました。

佐藤: 英語がすごく伸びたのは僕も同じで、模試でも毎回良い成績が取れました。もともと読解はできるほうでし

たが、作文がいまいちでした。『Grammar Book』*¹を何回もやって英文法の土台が整ったのと、作文の授業で教わったことや毎回の添削のおかげで、作文も得意になりました。

あとは、GSL*²にも助けられました。サミングアップを何回も音読して、本当に覚えるぐらいまで音読して聞いて、音読して聞いてというのを繰り返して、そうして覚えてしまった表現や話の運び方は作文にも読解にも、リスニングにも役立ちました。

グノーブルの音読

佐藤: 音読はすごく有効だと思います。文章が自分に使える形で入ってくるので、ストックされていく感覚があります。ネイティブの人が書いた文章は自然ですし、文章構成や単語もレベルが高いものです。それを自分で使えるようになっていく感覚は、純粋に嬉しかったですし、受験でもかなり役立ったと思います。

K.S.: 僕も音読をしっかりとやっていて、僕の場合、復習イコール音読でした。

音読していると、文の構造が目に見えるようになります。作文する時も、英文を書きながら、変な文法ミスをしていると違和感があった、見直したら「あっ、ここは違うな」と発見できるようになりました。口に出すと構文が音声化されて耳に入ってくるので、目と耳の2つを使う音読のほうが黙読よりも効果的でした。

福島: 音読は毎日やっていました。家では、家族に申し訳ないぐらい大きな声で音読していました。音読は、リスニング力にもスピーキング力にも役立ちました。読むのが速くなっている実感もありました。

藤原: グノの音読のメリットは、良い意味で息抜きになることです。音読は、立ったり歩いたりしながらでもできるし、グノの英文は読んでいて楽しいので、勉強しながら息抜きになりました。前提として、授業を通してしっかり内容を理解しておくことが大切です。

グノーブルの英語で特に良かったこと

藤原: 添削が授業内にあることです。書く時に、「添削される」と思うと、普通に書くより熱心に取り組めます。「しっかり書こう」という思いが出てくるので集中力アップにつながります。

福島: 一番の特徴は授業が充実していることだと思います。



ふじむら りひと
藤原 理人さん
東大文Ⅰ・芝

* SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答案は担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

* 1 Grammar Book: グノーブルの英文法解説書。英語の仕組みを理解して身につけることをグノーブルではとても大切にしているが、その英語の土台を「耳」と「口」を通して身体になじませてしまうことが本書の基本コンセプト。

* 2 Gnable Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。



高3の秋以降は、文系の場合、地歴に結構時間を割かないといけません。そういう中で授業中に集中して英語漬けになって、定期的に英語に触れられたのがすごく大きかったです。

佐藤：授業の密度が本当に高かったことです。

授業の前半は演習で、後半は解説ですが、演習はタイトな時間の中で頭をフル回転させて集中的に取り組まないといけませんし、解説も先生がずっと同じ熱量で話してくださるので、それをメモしたり理解したりするので精いっぱい頭を回し続けます。

授業の密度が高かったのがすごく良かったと思います。

自分はグノの教材以外の単語帳や参考書をほとんどやりませんでしたが、英語力が伸びていく実感があって、それもすごく良かったことです。数学や地歴の勉強に忙しい中でも、グノの教材だけを仕上げていけば英語力が伸びていくくれるのは、自分にとっては心強かったです。

自分は毎回の授業に全力で集中するようにしていました。復習や家庭学習は継続性がなくて苦手な自分ですが、授業に集中してたくさん吸収することが人よりもできるのが強みです。

その強みを活かして、毎回毎回の

授業に集中し、先生が言ったことを全部覚えるぐらいの気分でノートをとっていました。やはり授業で一番自分は伸びたと思います。

K.S.：授業内で演習から解説まで全部完結しているのはすごくありがたかったです。

それから、一番良かったのはやはり音読です。YouTubeにあるサミングアップの音声は、勝手にスクリプトが流れていきます。スマホだけあれば英語に触られます。この音声を使ってずっと音読していました。音声を聞きながらスクリプトを見られるので、「ここはどういう発音をしているか？」などをちょっとずつチェックできます。リスニングのウォーミングアップになりましたし、本試の前にもやりました。

グノーブルの国語

佐藤：高1、高2は古文を、高3は東大国語で現代文・古文・漢文すべて網羅できるよう受講していました。

国語の先生も毎週元気いっぱい、楽しく教えてくださいました。いろいろな身近な話題などを絡めながら、自分たちに分かりやすいように、エネルギーに教えてくださいましたのが、とても楽しかったです。

国語でも添削を毎週丁寧に行っていて、自分が分かっていなかったところや曖昧だったところはちゃんとフィードバックされていて、力につなげることができたと思います。

福島：自分は高3の春期講習から東大国語で教わりました。すごく楽しそうに先生が解説して

くださるので、受けているこちら側も明るい気持ちになりました。現代文は抽象的なので分かりにくいことが多いですが、先生が身近な話題や体験談を交えて説明してくださって、高校生の自分でも分かりやすかったです。高2の終わりには国語が足を引っ張っていましたが、高3に入ってから安定するようになりました。特に夏以降の模試では点数にもそれが表れていました。

藤原：僕も高1の1年間で古文を受けました。グノの古文は、高1か高2の1年間受講すれば仕上がり説明を受けていました。

当時の僕は全くもって受験勉強への熱意がありませんでした。大学受験の科目もよく知らなくて、中学受験のノリで「やっぱり英数国だよな？」みたいな感じで古文をとっていましたが、高3が終わるまで文法などで全く苦労することがなく、ありがたかったです。ちゃんと1年間で身につくカリキュラムになっていました。

グノーブルの数学

福島：高3の春期講習から数学を取りました。

僕は数学が苦手で、以前通っていた予備校では、授業を受けても分からないことが結構ありました。でも、そこは大人数だったので主体的にもなれずに、結局、取り残されていました。

グノに移ってからは人数も少なく、分からなかったことも授業後に質問できたのがすごくありがたかったです。メールでの質問にも先生からすぐに返信をいただけて助かりました。

後期はテスト演習になり、80分で4題を解きます。毎週記述答案を先生に見ただけで、それが本番への準備にかなり役立ちました。セルフチェックシート*では、数学の問題について思考の過程を言語化して可視化することで、自分の間違っていたところなどを見返せます。書いている途中で新しい方針が思い浮かぶこともあって、結果的に新しい問題を解く力がどんどん養われました。

グノーブルの先生

佐藤：グノの先生方は全員が紳士的です。

他塾だと、生徒の名前を呼び捨てにしたり、問い詰めてくる感じの先生もいたりします。一方、グノでは先生が、程よい距離感を保ちながら、優しく接してくださいます。どの先生も苗字に敬称をつけて呼んでくれました。名前以外にもいろいろなことを把握してくださっていたのは印象的でした。

個人的には距離を詰めてくる感じが苦手だったので、紳士的な先生方に恵まれて、とても居心地良く勉強できたのは素晴らしいと思っています。質問にいつでも毎回とても分かりやすく対応してくださる先生方は、知識がたくさんあって、頼もしい存在でもありました。

K.S.：僕は苗字がとても読みづらいので、他の塾では初回に絶対間違えられます。でも、グノの先生方は、初回からちゃんと呼んでく

ださって、しかも、すぐに覚えてくださったので、それが嬉しかったです。

先生は皆さん、非常に熱量が高く、機械的に教えるのではなく、先生の持っている知識や考え方を僕たちに伝えてくださっている感じが伝わってきました。とても分かりやすく覚えやすかったです。勉強に前向きになれました。

教わる側の気持ちも考えてくださったので、こちらもやりやすいし、自由にやれるので学力が伸びるのだと思います。

福島：授業への熱意がすごくて、生徒への姿勢も真剣です。すぐに顔と名前を一致させて覚えてくださいます。「どうやって覚えているんだろう？」と思って軽く衝撃的でした。

大手予備校だと質問にいくのも結構大変ですし、質問できる時間も短いです。グノの場合、メールでも質問をお願いできるので良かったです。

僕は直前期にいろいろな先生にメールで添削をお願いしました。先生方はそれをとて丁寧、しかも、短時間で返してくださいました。

藤原：双方向の授業ですぐに名前を覚えてくれるのも嬉しかったです。僕は先生たちの解説や雑談から先生の人柄や趣味を知ることができるのが良かったです。先生の人柄に親しみが湧いて、それが、受験が近くなってつらくなってくる時期に「グノに行こう」と思える原動力になりました。

後輩へのアドバイス

佐藤：大学入試を100メートル走に例えることもできると思います。120メートルや130メートルを走り切る力がないと、100メートルでも速いタイムで通過することはできないと思います。大学入試だけで止まるような学力では、東京大学をはじめとする難関大学に余裕を持って合格していくのはなかなか難しいと感じています。

その点、グノの英語は、日々の授業で扱う英文の英語のレベルも高ければ、要求される教養のレベルも高いです。

グノの古文でも、与えられた教材を全部現代語に訳していく全訳講座がありました。ごまかしのきかない演習でした。

英語も古文も、大学入試で要求されるレベルを遥かに超えていると思いますが、それをこなす力がないと、余裕を持ってトップスピードで大学入試を通過していくのは難しいと思います。グノは大学入試の先を見据えて、先に通じる学力を養成するという点では、大学入試に最も適した塾だといえます。



*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



東大をはじめとする難関大学が要求する力というのは、本質的かつ根本的な学力、すなわち考える力や記述する力であると思います。それはまさしく知の力で、グノで養えます。グノを信じて頑張っていたきたいと思います。

K.S.: 大学受験塾の中には入試問題を解く訓練をメインにしているところがあります。

グノはまず本質的な学力を身につけて、「入試問題演習は最後の仕上げだけで良い」というスタンスです。

でも、グノでも入試に特化した英語力に匹敵するどころか、それ以上の英語力が、授業内とその後の復習・音読で絶対についていきます。グノを信じて、復習などのサイクルをつくり上げてやっていけば、英語に関しては全く問題ありません。先生方を信じて頑張りたいと思っています。

福島: グノは英語・数学・国語のすべてが全部最強だと思っています。グノを信じてグノの勉強をしていけば絶対に大丈夫です。

それから、受験で一番大事なものはメンタルです。僕は共通テストの点数があまり良くて、9割にも全然届きませんでした。それでも東大は二次試験の割合が大きいので、「自分は二次型の人間だ」と言い聞かせて、最後の1か月間を必死に勉強したのが良かったと思います。もし、共通テストや模試の判定が悪かったとしても、そこで一喜一憂せずに頑張りたいです。

藤原: グノの教材を信じて取り組めば、合格する力がつくので、頑張りたいです。

直前期はやはりメンタルが大事で、同じような志望校を持った人たちと話してリフレッシュするのもおすすめです。あとは、文系だっ

たらやはり社会で決まるので、英語はグノの教材の復習だけに徹して、社会に時間を充ててほしいと思います。



中学受験グノーブル 永井先生 から佐藤くんへ

本格的にテニスに打ち込んでいて学習と両立されていました。学年が低いころ、汗も乾かぬうちに大きなラケットケースを背負って登塾しては算数の教材を黙々と解いていた姿が思い出されます。

授業中に本質を掴むことが上手で、学年が上がるにつれて問題の裏に見え隠れる出題者のメッセージをとらえることができる力まで身につけていました。合格に必要な学習はきちんと取り組みつつ、未知との遭遇を楽しみに、頭を動かすことを楽しみにきている姿勢がとても印象的でした。

合格、進学おめでとうございます。これからの更なる飛躍とご活躍を心より願っております。

受験報告日にいただいたメッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から編集者が任意に選んだものです。

慶応義塾大学 法学部 政治学科 進学
豊島岡女子学園高校

楽しい授業もありバリエーション豊か!!
5年間(=0レバ=0ベア=)

早稲田大学 医学部医学科 進学
島根学園高校

Gnobleを信じて!!
英語が本当に伸びる!!

京都大学 工学部 進学
早稲田高校

グノは神
最高でした!!

早稲田大学 創造理工学部 進学
東京工業大学附属科学技術高校

こんなに楽しい塾はないです。
授業毎回楽しめていた!
ありがとうございました!!

東京大学 文科I類 進学
駒場東邦高校

音読
しよ

東京大学 文科I類 進学
慶応義塾大学付属高校

英語・数学・国語と3科に
なりました。
音読しよ!!

早稲田大学 建築学部 進学
麻布高校

Gnobleで
良かった!!

京都大学 工学部 進学
京都府立大学付属高校

Gnobleは英語だけじゃなく!!
数学も神!!
最高に楽しいです。

東京大学 文科I類 進学
学光学園

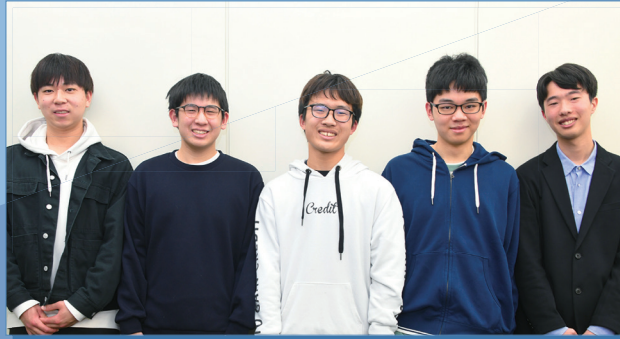
最高に楽しい授業で
最強の学力が身につく!!
Gnobleを信じて
頑張ってます!!

東京大学 文科II類 進学
文

グノのおかげで合格できました。
必ず学力が向上します!!
グノを信じましょう

18期生合格者 インタビュー

Part2



う だ がわ がく
宇田川 楽さん
東大理Ⅰ・開成



た か ぎ あきのり
高木 亮孝さん
東大文Ⅱ
筑波大附属駒場



たにうち ひろのり
谷内 啓則さん
東大理Ⅰ・開成



にしわき ひびき
西脇 響喜さん
東京医科歯科大医
筑波大附属駒場



や た しょう たらう
矢田 翔太郎さん
東大文Ⅰ
筑波大附属駒場

座談会出席者 五十音順・本文中敬称略

医学部志望の動機

西脇：医学部を志望したきっかけは、高2の冬休みに南相馬市立総合病院の院長先生のお話を伺う機会があったことです。東日本大震災当時、原発事故で避難指示が出ていた中で、先生自身は病院に残って、患者さんの治療にあたり続けたとおっしゃっていました。その姿勢や覚悟に憧れと尊敬の念を抱き、医学部を志すに至りました。

グノーブル入塾のきっかけ

西脇：入った時期は高1の9月頃です。ちょうど「英語の塾に通い



う だ がわ がく
宇田川 楽さん
東大理Ⅰ・開成

始めよう」と考えていた時、グノに通っていた学校の先輩が勧めてくださったので、試しに授業を受けてみたところ「この塾は自分に合いそうだ」と思いました。他塾と比較して、授業がすごく論理的で、文法なども考え方をきちんと教えてくださいますし、覚えるというより理解するという前提で説明してもらえました。理詰めで考えたい僕としてはすごく合っていると思いました。グノの授業を最初に受けて、そのまま決めました。

中1の頃は、ただ英語にたくさん触れることを重視する別の塾に通っていましたが、あやふやな理解のまま進んでいる感じがしていました。辞書を引かなくても、「何となく理解するので十分」みたいな教え方で、僕には合いませんでした。ちゃんと納得できるのがグノの良いところだと思いました。**宇田川：**グノに入ったのは中学1年生です。母親の勧めはありましたが、自分でも「英語の塾に入りたい」と思っていました。英語は中学からの教科ですし、留学経験のある母親が英語教育に熱心だったので、「英語はちゃんとやっておいたほうが良い」という



た か ぎ あきのり
高木 亮孝さん
東大文Ⅱ
筑波大附属駒場

気持ちがありました。母親がどこでグノーブルを知ったのかは分かりませんが、「あなたに合っているよ」と勧めてくれました。それで、グノに実際に行ってみたら、授業はとても分かりやすいし、宿題の負担も少なく、母親の言うとおり僕に合っていたので6年間お世話になりました。他塾に通っている人の中には学校の授業中に宿題の内職をしている人もいました。グノはそういうことは必要なく、学校の授業や部活、課外活動などとちゃんと両立できたし、全部の教科をバランス良く勉強できました。しかも、負担が少ない範囲でちゃんと理解を深めてくれるのがすごく良かった

です。大学受験を意識する学年になっても、塾を変えようとは全く思いませんでした。

谷内：僕も中1の時に、母から勧められて、特に他と比較することもなく決めました。授業を受けたら楽しかったので、そのまま6年続けました。

高木：入った時期は高1の冬です。当時の僕は英語の勉強をちゃんとしていませんでした。グノには、「EGGS*」という英語超初心者講座があったので、「そこに入って実力を積み上げていけば伸びるんじゃないかな?」と思ったのがきっかけのひとつです。もちろん、東大の合格実績をしっかりと出している塾なのも魅力的でした。

それから、文系志望の僕にとっては、グノの国語の授業の評判が良かったのも大きかったです。

矢田：僕は中学3年生で英語と数学を取りました。中学受験で合格したあとに何もしてなさすぎて、英語も数学も、全くできなくなっていて、「とにかく塾に行かなきゃ」といろいろ探していました。その時に、グノ

に通っていて東大に合格した姉の親友が「グノの英語はめちゃくちゃ良いよ」と言っていたのを聞きました。その話がとても説得力があったので、英語も数学もグノに入りました。

他塾のことが気になったこともありましたが、話を聞いてみると「絶対にグノのほうが良い。絶対に塾を変えちゃダメだな」と感じました。そのまま最後までグノに通って正解でした。

グノーブルと他塾の違い

矢田：宿題が多くなっても実力がつくところ、授業の振り替えが可能なのがグノの特長です。学校の用事が突然入っても、グノだと、振り替えができて全部の授業に出られました。

そして、もうひとつ、僕の中で大きいのは、講師陣がとても充実しているところです。グノの先生はどの先生も、教えることに熱意があって授業が充実しています。僕は「先生が大事」と思って塾を選んだので、そういうところが良

かったです。長年のご経験でデータもいっぱいある中で、「どう指導したら生徒が分かりやすいか、成長できるか」なども熟知されていました。

高木：僕は矢田君と同じ学校で、学校生活は当然忙しく、グノの振り替え制度は大きかったです。塾の宿題に追われて学校で内職することもグノならありません。そのおかげで、学校行事も楽しめたと思います。

谷内：そんなに宿題が多くないのがグノの特長ですが、初めの頃は、その宿題ですら僕のキャパシティギリギリみたいな感じでした。勉



たにうち ひろのり
谷内 啓則さん
東大理Ⅰ・開成

* English Grammar Green Session for newcomers:季節講習(中3冬期~新高3冬期)で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。



にしき ひびき
西脇 響喜さん
東京医科歯科大医
筑波大附属駒場

強に気持ちが向いていなかったんです。それでも気づいてみたら、いつのまにかグノの宿題は完遂できるようになってきて、勉強の習慣も身につけてきたようでした。強制されることがなかったのが僕に向いていたと感じます。

グノは雰囲気が良いです。良い意味で「緩い」感じもあって、ギスギスしていません。先生と生徒の距離が近いのも良いところです。

宇田川：やらなければと追い込まれるのと、自主的にやりたくなるのでは効果が全然違うと思います。僕の学校では、塾の勉強に追われて学校の成績がどんどん落ちてしまう人が結構いました。一方、僕は学校の授業も塾の授業もちゃんと受けられたことで、しっかりと学力の形成につながりました。

西脇：グノは、一つひとつの教材を深く掘り下げてくれる印象があります。英単語も語源から解説が始まってその単語のイメージをしっかりと教えてもらえます。語源から派生語も勉強するので、ひとつの教材から得られる学びがすごく多いんです。

こんなにひとつの教材を深く掘り

下げる塾はないと思います。高3で扱った英文教材の一つひとつから得られる学びがすごく大きいので、身につく力も本当に大きかったです。ここは唯一無二だなと思いました。

教材を事前に渡されて、それを学習してきた上で授業を受ける塾が多い中、グノでは毎回の授業で新しい教材が配られるので新鮮です。

その教材を授業内で演習するので、緊張感を持って取り組みますし、時間配分もかなり気にします。すぐに解説も受けられるので、その意味でも新鮮でした。

グノーブルの話題

宇田川：僕の学校でもグノに通っている人はある程度はいます。でも、グノに通っている人は、グノの宿題を別に学校でやらなくても良いからテキストを開いている人がいないので分かりません。

谷内：家では基本的に母が僕を信じてくれていたみたいで、あまり口を出すことはありませんでした。でも、僕が悩んでいるように見えた時に、「グノを信じて続けていけば良いんじゃないの」と声をかけてくれたことがありました。

僕は、東大を目指すには英語の点数が低すぎる状態が長く続きました。それでも、母から「まずいんじゃないの？」などというネガティブな声を聞くことはなくて、それが僕にとってだいぶ助かりました。

高木：僕は学校でも家でも、そんなにグノのことを話題にはしていませんでした。

英数国でグノに通っているうちに、模試の点数も落ちていたので、親から何かを言われることもありませんでした。僕がグノで勉強するのを静かに応援してくれていたのだと思います。

矢田：グノでしている勉強のこととか、僕の成績のことは、多分、親は分かっています。でも、「どうなの？」と聞かれても、僕は「まあ、大丈夫だよ」と答えていたくらいでした。

西脇：僕はわりとよく家族とグノの話をしていました。帰国子女だった父とは、第二言語の習得について話したことがありました。例えば、グノでは「英語を理解する過程で日本語を経由するのは、第二言語を習得するには良いことだ」と説明を受けていました。英語だけを使って英語を学ぶことにこだわらないんです。

英語で表現されているのは、筆者がイメージしている何らかの事物や動作、感情、概念などです。その事物や動作、感情、概念を、日本語の手伝いを借りて明確にしておいて、音読する時に、英語とそういう動作や概念などを結びつけていくのです。

英単語を語源からニュアンスを捉えていくなど、グノの指導方針は、「どうすれば一番効果的に英語を吸収できるか？」に重きを置いている気がしました。

父も僕の話に「面白いね」と興味を示してくれていました。

グノーブルの英語

矢田：僕は、高3の11月くらいまで、英語がずっと壁にぶつかっている感じでした。でも、受験直

前期に過去問を解いたら「あれ、自分はこんなに解けたっけ？」みたいな感じで、どんどん解けました。本番でも英語が足を引っ張りませんでした。気づかないうちにグノの教材で鍛えられていたのだと思います。

グノの英語教材では、幅広い話題が扱われました。日本語でも知らない知識が出てくる医学的な文章なども読みました。すべての英文について先生が背景まで含めて分かりやすく解説をしてくれました。これらの知識は受験で使わないかもしれないけれども、まず第一に楽しかったし、将来にも役立つと思います。英語力ももちろんですが、教養という意味でも将来に生きるという実感がありました。

谷内：英語は本当に伸びたと思います。僕の成長は全然グーンという伸びではありませんでしたが、じわじわと上がって、終盤になってくると東大英語でもいけると感じるようになっていました。

伸びたのは、グノの授業に集中して取り組んだことや、課題をこなしてきたことにつきます。

高木：僕はEGGSからのスタートでした。初めてEGGSに行った時、最上位の教室で矢田君が授業を受けていて、ちょっと劣等感を感じました(笑)。でも、そこから積み重ねていったから、上位クラスに入れましたし、東大に合格できる英語力もつきました。

高2の文法の授業では、長い時間をかけて土台をじっくり鍛えてもらえました。高3の授業は演習中心で、1学期は東大の過去問を扱うこともありましたが、夏休みぐらいから先は、東大レベルよりさ

らに難しいレベル、例えばオックスフォード大学教養学部 of 教科書が題材になったりしていました。そういうレベルが高いものを確実に理解できるように講義してもらえて、それをちゃんと音読で復習しているから、難しい文章もずっと理解できるようになっていました。冬に東大の過去問を解いてみたら、「難しくない」と思うレベルになっていて、「おおっ！」と驚きました。

宇田川：グノの授業では、「前から解釈する」とか「英語の語順のまま」ということを大事にしています。だから、戻らずに英語のまま読めるようになって、読むスピードが上がったのだと思います。英語のまま解釈していくのはすぐにはできませんが、毎週やっていたらどんどんできるようになっていきます。積み重ねていく中でいつのまにか身につけていきました。

西脇：高2の冬休みに受けた校内のテストで、英語の偏差値が30台でした。そこから頑張って、最後の学校のテストでは英語の偏差値は60ぐらいまで上がりました。グノで学んだ英語は大学生活でも役立ちそうです。大学受験が終わったあと、両親の勧めでTOEFLを受けてみたら、リーディングとリスニングの点数が取りやすかったです。

もうひとつは、化学オリンピックの縁で海外の人と話す機会があり、わりとスラスラと意思疎通ができました。そういった点でも成長を感じています。

先生が授業中に、医学系の難しい単語についても、グノ同様に語幹に遡って学習していくと、推測で

きたり覚えやすかったりするとおっしゃっていました。グノの英語は医学部でも役に立つという期待があって楽しみです。

グノーブルの英語の勉強法

西脇：一つひとつの教材を深く掘り下げてくれるのはとてもありがたかったし、そういった過程がすごく楽しかったです。受験のために教材を使い捨てにするのではなく、英文の背景、書いている人の思いにまで至る解説を聞くのが好きでした。毎回の授業の楽しみでした。

グノーブルは復習を重視していますが、その復習の過程も楽しかったです。高3の1月、2月に入ってきて、いよいよ正念場となった時にも、毎日夜に過去の教材を遡ってやっていました。そういった時間は楽しくて息抜きのようにも感じました。

宇田川：良かったことは、グノの英文が全部面白かったことです。無機質な英文をずっと読み続けるのではなく、いろいろな英文に出合えて、楽しく学べました。

英語の授業や勉強は、他の教科と



や た しゅうたろう
矢田 翔太郎さん
東大文I
筑波大附属駒場



比べても知識の確認や文法的な説明の単調な作業になりがちです。でも、グノの授業では、いつも頭が活性化されました。解説を聞いていると内容理解が深められて書いた人の人柄まで見えてくることもあって面白いので、寝てしまわずに聞ける授業でした。

高木：グノの先生は、「知識を伝えて終わり」という教え方ではないので、大切な単語だと何度も解説で扱ってくれます。僕たちもそういう単語とはものすごく親しみが持てるようになります。

当てられて間違えても、「失敗こそ成長につながる！」と常に肯定的です。先生が作題された問題が教材なので、「ここを考えてほしい」というところを僕たちが正しく考えられると、先生は「良いね！」とすごく大きいリアクションをとってくれます。それが嬉しくて、「絶対に解いてやろう！」というやる気が湧いてきました。

谷内：扱っている英文は面白いものばかりだし、その面白さを先生がちゃんと伝えてくれました。だから、僕にもその面白さが分かって、音読も楽しかったり、英語への抵抗感が全然なくなったりしました。英語に抵抗感がなくなったから、英語が苦手でも「頑張るか！」という気持ちになります。

矢田：いろいろありますが、3点

お話しします。

1点目は単語帳を使わないところ。グノの教材と解説を通して英単語を身につけていけば単語には困りません。しかも、語源から本来の英単語の意味を教えてください。日本語で置き換えて終わりではありません。知らない単語でも語源や文脈から推測できる力がどんどん身につきます。

2点目は、文法の用法をただ「これはこういう意味だから覚えなさい」と説明するのではないところです。英語的な感覚、英語的な捉え方から分かりやすく説明してもらえるので、スッと入ってきます。忘れにくくなるし、忘れてしまったとしても、前置詞や副詞などの根幹のイメージが頭に入っているものでよみがえってきます。

3点目は、何回も復習して読むところです。1回読んで、内容が頭の中に入っている文章をあとの読むのは結構楽です。それが良い復習になりました。例えば、抜けている単語が1個あったとしても、「そういえば、この単語はこういう意味だったな」とスムーズに思いつけます。やりながら「うわあ、何だっけ？」と悩むのではなく、スラスラ思いつけます。その反復が最後のほうで英語を読めるようになったことにもつながりました。

音読して納得した英文を、テストと同じく、目で速く読んでみるのを独自にやっていました。でも、音読の効果はめちゃくちゃ大きかったです。音読は戻れないので、「前から意味を取らないといけない」という意識が自然に植えつけられて、前からどんどん意味を

取っていけるようになりました。

グノーブルの音読

谷内：音読し始めてから英文の見え方が変わりすぎて、そもそも読めなかった頃からは測りようがない次元まで来られた感じです。いつのまにか、前から読んでいてそのまま意味を取れるようになったこと、それから、段落ごとに整理して内容を捉えていく習慣がつきました。ですから、長文で迷子になりづらくなりました。

高木：前から意味を取れるだけでなく、なじんだ文章を大きな声で音読するのは純粋に楽しいことです。特に物語は、登場人物に憑依した感じで、感情が高ぶった状態で生き生きと音読すると無二の楽しさを感じられます。それを毎日やるのは、力がつくからだけでなく楽しいから、やらない理由がありませんでした。

西脇：音読では綺麗な英文が頭の中に入ってくるので、ライティングやスピーキングにもすごく活きてきます。英作文では、綺麗な英文が出てきやすくなりました。音読は、リーディングに限らず、英語学習全体で効果があると僕は思います。



グノーブルの数学

矢田：高3の途中までは、単元ごとに「このテーマだったら、どう対処するか？」を何周もしました。テーマごとに「この問題を見たら、こうやればいいんだ」というのをスムーズに出せるまでやったのが大きかったです。

セルフチェックシート*は、「自分がどこまで解けたか？」が分かるところが最大のメリットです。例えば、最初から方針をミスしていたのか、または、ただの計算ミスだったのかみたいは、「どこでミスしたのか？」が明瞭になることによって、「今の自分に足りないのは、次のステップへの思考の過程なんだ」「計算ミスを注意する姿勢が足りないんだ」などと考えられます。

間違えた問題をただ放っておいたり、解法を頭に入れたりするだけでなく、「次はここをできるようにしよう」というところが明確になったのが一番大きなポイントです。

高木：グノの数学は、本当の実力をつけてくれる授業でした。文系だと高1で全範囲終了して、高2の1学期、夏期講習、2学期、高3の春から1学期で、一単元を3、4周して、さらにはテストゼミでも同じようなことを何回かやります。

同じことを何周もして、各問題へのアプローチを短い言葉で教えてくれるので、本番でもそれをすぐ意識できました。

今年は東大の文系数学が難しくな

りましたが、先生の言葉を意識して解いたら、かなり良い結果も出せたと思います。先生が独自につくってくれたプリントを試験直前などに見直したおかげで、考え方を頭に入れられました。

先生は「数学は、問題の要求を把握して、方針を決定して、計算を実行する」と口を酸っぱくしておっしゃっていました。それを実行する中で、「ここで方針が足りないぞ」とか「この計算で詰まっちゃった」とか「方針が合っていない、手計算では未来がない」とかがよくあります。

それを書いて先生にお伝えすると、先生が確認して「ここが分かっていくのか」と解説の内容を変えてくださいます。だから、僕らも「あっ、そうか！そこをミスしていたんだ」と分かるし、すぐに反省できて次につながれます。

特にテストゼミでは、セルフチェックシートのような欄があって、「この記述が伝わるか不安です」などと書けます。それに対して毎回「これで良いよ」とか「ちょっとここは変えよう」とかを教えてもらえるので、すぐに次の解答に活かされます。

数学をノリと勢いで突破してしまう人もいますが、僕はそれで行けるほど地力があるわけでもなかったもので、グノの数学が役立ちました。

グノーブルの国語

高木：東大国語は、先生がすごく



楽しそうに授業をしてくださったので、受けているこちらにも本当に楽しかったです。先生はいろいろな経験をされているので話の引き出しが豊富なんです。

東大は、国語の方針として、品格のある文章を厳選しています。その品格のある文章を、先生の解説を通して味わい尽くせるのも面白かったです。

グノの国語は、グノの英語と同じで教養もつく授業でした。先生が学生にはピンと来ないところも掘り下げて、背景まで含めて解説してくださいます。もちろん点を取れる答案の作り方も教えてもらえて点数を取る力もつくし、楽しくて、教養も身につけて、得点力もと、もう一石何鳥か分からないくらいです。

古文・漢文は「暗記が必要だ」と言われますが、グノでは1年間の授業で必要な力がすべて整います。僕は高2で受講したので、高3になって単語帳を一切見ていません。

古文の演習で出てくる単語は、先生がアクションつきで解説してくださいます。印象に残っているのは「うちつけなり」という単語です。先生が机をバーンとやって「こ

*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



んな感じで『突然』という意味なんだよ」とおっしゃるので、それはもう頭に入らないわけがありません。1年間で古漢も点数を取れるようになりました。

矢田：僕も高3で東大国語、高2は古文と漢文をとっていました。一番良かったのは漢文で、句法などを「覚えてきなさい」ではない授業だったことです。文章の中で使い方を理解しながら味わっていると身につきます。現代文は、高木君も言っていたように、とにかく楽しかったです。ノリノリになりながら授業に参加できることで、エッセンスをどんどん吸収できました。考え方の幅が広がり、解き方も身につき、応用力がつけました。グノの教育方針が、英語も国語も数学も同じ方向を向いていて、授業の雰囲気どれも似ているのだと思いました。

グノーブルの先生

矢田：個々の先生の話をお聞かせしていると切りがないので、全体的な話をします。やはり一人前の大人として扱ってくれたところが僕にはめちゃくちゃ心地良かった、というか、勉強していてやりやすかったと感じるところです。

塾の実績のために「お前はこうしろ」と言われることは一切なく、生徒の自立、自主性を尊重してくれました。

その一方で、こちらの要望には熱心に応えていただけました。質問にいつもめっちゃくちゃ丁寧に答えてもらえます。

そういう一対一の大人の関係が一番良かったです。自分の特徴なども理解してくれた上で「こうしたほうが良いんじゃない？」と寄り添ってくれたのが印象に残っていて、とてもありがたかったです。

谷内：先生方はめちゃくちゃ寛容で、こちらを受け入れてくださいます。

その一方で、添削や授業のやりとりで一人ひとりを見てくださるので、アドバイスは的確だし、すると頭に入っていくので、授業も受けやすいし、質問にもいきやすいんです。

確かに「一人前の大人の扱い」という表現がしっくりきます。僕は、グノでは不真面目な期間がだいぶ長かったです。それでも、先生方はそんな僕にもいつも圧力をかけてくださることがありませんでした。だから、僕はグノを最後まで続けられたのだと思います。

高木：グノの先生が怒っているところを見たことがありません。生徒が寝ていても、宿題をやってもなくても、多分怒られません。でも、実際に寝ている生徒は一人もいませんし、みんな宿題もやってきます。自由な塾ですが、生徒自らが「全力で努力しよう」という雰囲気があります。グノの先生がそういう雰囲気をつくってくださっているのが大きいと思います。

それから、受付にもお世話になりました。僕は個人的に鉛筆を使っていて、よく受付で鉛筆削りをお借りしました。週4で通っていたので、毎日のように4時半になったら「鉛筆削りをお借りしてもいいですか？」と聞いていたのですが、毎回快く対応してくださいました。そのうちに僕が行くと「あっ、鉛筆削りですね」と持って来てくださいました。笑顔で対応してくださいますし、本当に雰囲気良かったです。

宇田川：グノの先生はプロだから、生徒のことをすごくよく見ていたと思います。「ちゃんと見てくれているな」という安心感がありました。

振り替えはネットでもできますが、僕は受付によくお願いをしていました。毎回の対応がいつも丁寧で優しくかったです。そういうのがとてもありがたかったです。

西脇：受付の方々については、僕もすごく丁寧な印象があって、ありがたかったです。

グノの先生については、とても面倒見が良いと思いました。僕は授業後によく質問をするタイプで、本当にたくさん質問がありました。でも、先生方は1個1個丁寧に答えてくださいました。「これを聞いてごめんなさい」みたいな細かいことも僕は気になるタイプで、「聞いて良いのかな？」と思うこともありました。それに対して、先生方はいつだって「ウエルカム！」という感じで、毎回の授業で遅くまでおつき合いいただきました。そういった面で面倒見がいいし、優しいし、すごく親身になってくださいました。

僕が受験した医科歯科大は問題

の傾向が独特です。その対策で、10年分の英作文と400字要約の添削をお願いしました。毎回の添削がとても丁寧で、一つひとつのコメントも的確だったので、僕の実力が毎回伸びていきました。ものすごく感謝しています。

医学部を目指す後輩へのアドバイス

西脇：医学部は英語が本当に大事です。

東大などに比べて、医学部は数学・物理・化学の問題数が少ないので、点数差が振れやすくなります。だから、「数学で稼ごう」と思っただけで、実際に本番では取れず、悔しい思いをする人も多くいます。

そういった意味で、英語はやった分だけ伸びますし、やった分だけ点が取れるので、やはり英語を固めておくことが本当に大切です。医学部を目指す人たちは英語をしっかりとってほしいです。医学部で通用する英語力をつけるという意味で、グノは本当に良い塾です。グノのカリキュラムに則って音読と復習を大切にしましょう。それから、『Grammar



Book』*の一文一文には音声がついているので、それを聞いてディクテーションすると、綺麗な英語が自分の中に入ってきて、ライティングなどの実力も上がってきます。グノは英語力をつけるのに十分な塾なので、信じて頑張ってください。

後輩へのアドバイス

西脇：グノでは、「過去問をあまり解かなくて良い」と言われます。僕はグノを信頼していましたが、実は「本当に過去問を解かなくて大丈夫？ 間に合うかな？」と不安になってしまうこともありました。高3の5月に1回だけ過去問を解いて、自分に足りないところや、合格に向かって必要とされる分野だけは把握しておきました。でも、本気で過去問を解き始めたのは1月からで、結果的には十分に合いました。

「過去問を解かなくていい」とか「単語帳を使わなくていい」とか言われると、不安になることもあります。でも、グノのカリキュラムや先生方を信頼し切って大丈夫でした。

過去問を大量に解いたり、単語帳の暗記はいわゆる「多数派同調バイアス」だと思います。みんながやっていることをやっていると安心はできますが、本当に実力がつく効果的なやり方なのかを疑ってみることは大切です。

後輩の皆さんには、グノを信じて、コツコツと復習などに取り組んだら良いとアドバイスします。

宇田川：あまり詰めすぎないようにしてください。集中して勉強できる時間は限られています。無駄に詰めすぎたり、無駄に我慢したりするのは、精神的にも良くないと思います。

良い感じのバランスで、気持ちを強く持てる余裕が必要です。

高木：グノは広告などで「知の力を活かそう」とずっとおっしゃっていて、本当にそこは全科目で徹底していて、かつ、どの科目でもいろいろな視点から教えてくださいます。

数学なら別解をたくさん教えてくださったり、英語でも国語でも多様な文章を扱ってくださったりするので、僕たちの視野が広がります。

先生方も知性にあふれ尊敬できます。ホームページに「2つの磁石」という項目があって、「受かる方向にも、その先の成長にも導く」と書かれています。僕は2年半通ってみて「『2つの磁石』は本当だったな」と実感しました。だから、グノの先生のおっしゃっていることを信じてやっていたら、合格は叶えられます。

谷内：グノのシステムや教え方については何も異論はありません。僕は、本格的に「グノを信じて頑張ろう」となった時期がちょっと遅くて、「中学の時から音読して、英文に対する見方が変わっていたら、その後どれだけ伸びたことか？」と後悔しています。

中学生でこのインタビューを読んでいる人がいるのなら、「音読は早くやったら本当に世界が変わる

* Grammar Book：グノーブルの英文法解説書。英語の仕組みを理解して身につけることをグノーブルではとても大切にしているが、その英語の土台を「耳」と「口」を通して身体になじませてもらうことが本書の基本コンセプト。

よ」と伝えたいです。

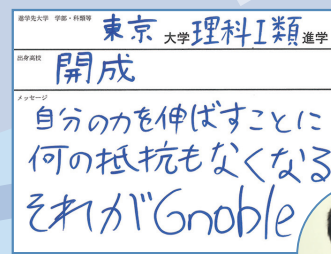
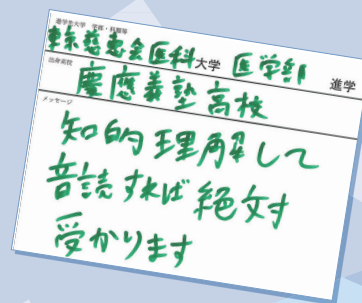
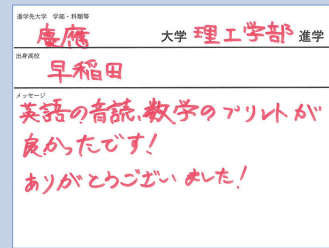
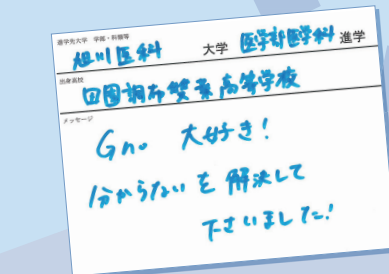
矢田：みんなも言っているように、グノを信じましょう。

それから、周りに流されないことも大切です。別の塾に行っている周りの人たちが、分厚いテキストを持って「こんなにやっているん

だぞ」という姿を見ると不安になるかもしれません。自分にとって「グノが合う」と思えたなら、その道で最後まで進んでいくのが大事です。

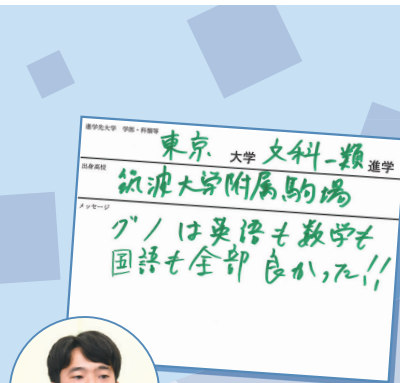
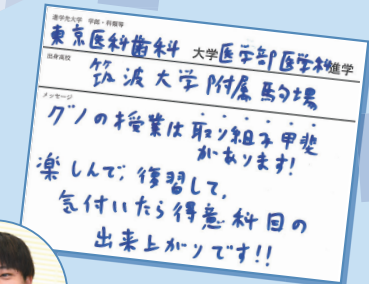
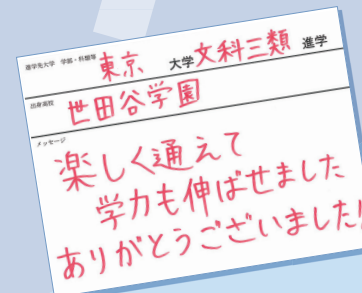
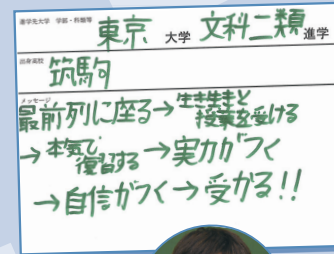
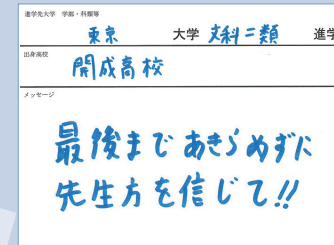
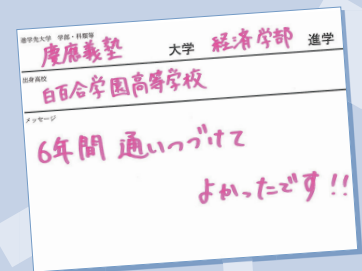
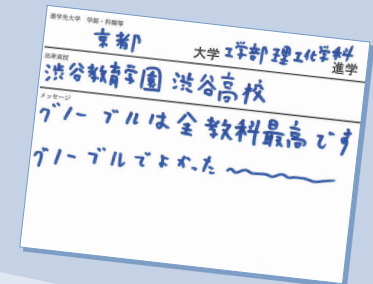
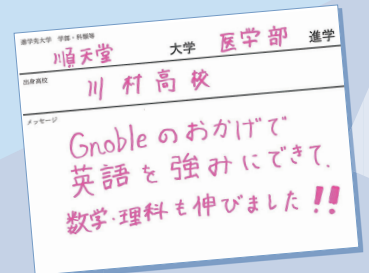
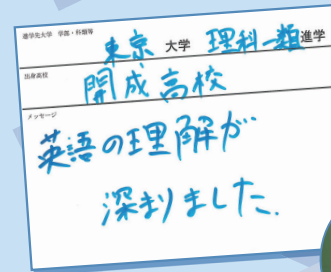
音読は、慣れてくるとどんどん読めるようになりますが、即効性が

あるわけではありません。継続が大きな力につながるのが音読です。受験勉強は短期的なプログラムではなく長期的なプログラムなので、最後までグノを信じ抜くことが大事です。



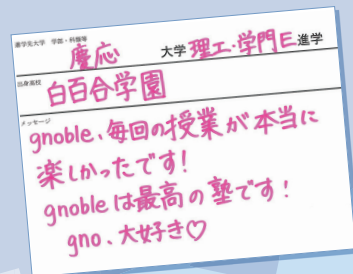
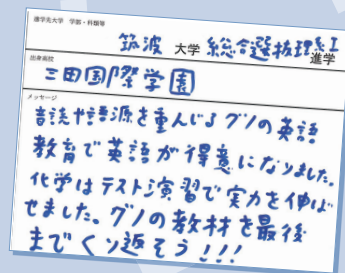
受験報告日に いただいた メッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。



受験報告日に いただいた メッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。



18期生合格者 インタビュー

Part3



きし こうたろう
岸 孝太郎さん
東大文Ⅲ
駒場東邦



きたはら しんのすけ
北原 慎之佑さん
東大文Ⅰ
都立富士



すずき けんたろう
鈴木 謙太郎さん
東大文Ⅰ
開成



たにもと はるこ
谷本 温子さん
東大文Ⅱ
筑波大附属



なが た たいし
永田 泰士さん
東大文Ⅰ
開成



ひらが えいさい
平賀 瑛斎さん
東大文Ⅱ
駒場東邦

座談会出席者 五十音順・本文中敬称略

グノーブル入塾のきっかけ

岸：僕は新高2の春期講習のタイミングで入りました。部活の先輩に勧められたのがきっかけです。バスケ部の先輩から「グノは週1回で、演習効果が高いから効率が良い」と聞いていて、興味を持ちました。ちょうど「そろそろ英語の塾をどうしようか？」と考えている時期だったので、春期講習を受講してみました。

演習効果が高いことについては、授業の回数を重ねて気づきました。授業を集中して聞いて、そのまま音読するだけで力がついたからです。

平賀：僕は中3の終わりに数学をとりました。その時一番苦手だった



きし こうたろう
岸 孝太郎さん
東大文Ⅲ・駒場東邦

科目が数学で、「塾で補強しよう」と思ったからです。

友達がすでにグノで数学と英語をとっていて、「良いよ」と話していました。周りには、他塾に通っている友達が多くて、みんな課題で苦しんでいました。中3の僕は「そんなに頑張りたいくない」と思っていたので、グノを選びました。英語は高1からで、国語は高3からです。

鈴木：僕は高1の夏期講習から入りました。僕は高校受験をしたので、その経験から英語が得意なほうでした。でも、高校に入って「英語をもっと伸ばしたい」と思って、母親に「どこの塾が良い？」と相談したところ、グノを勧められました。母は知り合いから塾の情報を教えてもらったみたいです。他塾に行っている人を見ると、課題で分厚い本を読まされて、英作文を覚えさせられる授業のスタイルのようでした。僕は暗記が苦手だったので、他塾は候補から外しました。

グノの夏期講習を実際に受けてみて、英語を英語のまま頭に入れる読み方を教えてもらったので、「これなら暗記しないで自然な英語を身につけられる」と感じて、その

まま入りました。

永田：僕は中3の冬に「英語力を伸ばしたい」と思って塾を探しました。そこで、知人にグノを紹介されて、自分でも調べてみたら良い評判がたくさん聞こえてきました。

北原：僕は新高1の春期講習からです。とにかく英語が苦手で、グノの前に通っていた塾では壊滅的な成績状況でした。「英語に強い塾に入りたい」と思っていたところ、親から「グノがあるよ」と聞きました。

谷本：母に「グノーブルの英語は良いらしい」と強く勧められて、中学の時に春期講習を受講しました。その頃は英語があまり好きではありませんでしたが、グノの授業で「英語は楽しい」と思えたのが印象的でした。

高1から英語と数学で入りました。母は多分インターネットで調べたのだと思います。

グノーブルに通ってみて

谷本：宿題が多くなくて、1回の授業で演習、その場で解説というサイクルに重点が置かれていきます。だから集中できて、1回1回

の授業の質が高くて内容が濃いと思えました。

自然に集中できるので、やらされている感がありませんでした。

北原：先生と生徒の距離が近いのが他塾との一番の違いだと思います。

グノの先生はその場にいる生徒の表情や反応などを見て、「どういう授業をしたら良いか？」を考えて臨機応変に授業をしてくださいます。すごく良かったです。

しかも、授業の1回目から先生が生徒の名前を一人ひとり完全に覚えていて、授業中には名前が当ててもらえます。生徒一人ひとりの成績状況だけでなく、「どういう性格をしているか？」まで考えながら添削の時のコメントなどを変えてくれます。

永田：先に通っていた友人から「先生に名前をすぐ覚えてもらえるよ」と聞いていて、「本当にそうなのかな？」と思っていました。でも、どの先生も本当にすぐ一人ひとりを覚えてくれて、それが僕にはとても好印象でした。

鈴木：他の塾を見てみると、分厚い単語帳を一から覚えさせられる感じです。それで単語だけ覚える人もいますが、僕はそれが得意で

はありませんでした。

グノの授業では、文章というリアルなコンテキストの中で単語を覚えられます。一つひとつを結びつけるのではなく、「こういう時にこの単語が出てきた。だからこういう意味なんだ」というふうに、体系的に文章の中で感覚として「こんなイメージだったな」というのを得られました。これは自分の英語の学び方に合っていました。

平賀：周りの友達は全員、単語帳の暗記をやっていたので、僕は最初不安でした。でも、グノの授業を復習して音読するというサイクルを繰り返していたら、単語で困ることはありませんでした。問題なく順調に英語の成績が上がっていった、単語帳に割く時間を他に回せたので良かったです。

鈴木：英語はもともと得意だと自負していましたが、それでも難しいと思えるものがグノの授業では出てきます。自分では少し届かないレベルのものを授業で提供してくれるからこそ、その1回の授業で成長できます。しかも、次の授業ではもっと難しいものが出てきます。この繰り返しで、あと1歩届かなかったところに手が届くと



きたはら しんのすけ
北原 慎之佑さん
東大文Ⅰ・都立富士

いう経験を積み上げていけるので、「前はできなかったものができるようになっているし、今度はこれだけ成長できたんだ」「この文章は昔のものだけど、今なら簡単に読める」などと実感ができます。それがすごく自信につながりました。

岸：先生が持ってきてくださる教材は質が高く興味深く、日本語でも読みたくなるものばかりでした。英語力もさることながら、教養も身につく教材で、今後大学で英語を学ぶ上でベースになるような英文です。

学校や他塾だと過去問を渡して終わりのことも多いです。一方、グノは過去問だけやるというスタンスではなく、東京大学が求めている



すずき けんたろう
鈴木 謙太郎さん
東大文 I・開成

る人間力を養える文章を教材にします。しかも、先生が教材にしている英文は、先生がご興味をお持ちの英文です。先生自身が、非常に興味を持っている英文を、その面白さを共有する形で授業してくださるのが印象的でした。しかも、扱われるテーマは本当に幅広くて偏りがありませんでした。それもグノのすごいところでした。

グノーブルの話題

平賀：友達と先生や授業の話をすることは多かったです。グノの先生は個性的で、一人ひとり授業スタイルも違うので、「あの先生の授業めっちゃ面白いよ」という話をしていました。

岸：グノの先生は人間として魅力的です。だから友達と話す時も先生の話が中心でした。僕たちは、他塾の先生のことを呼び捨てにすることもありますが、グノの先生はいつでも、「〇〇先生」と呼んでいました。先生たちを尊敬できる人生の先輩みた

いに感じていたからです。友達と日常会話で社会問題や最新の科学の話題を話す時にも、グノで扱った教材がよく軸になっていました。「グノでこういう教材があったけれど、どう思う？」みたいに会話が始まっていました。先生たちが提供してくれた教材は、僕たちには英語という受験科目の枠には収まっていませんでした。**鈴木：**僕の母は仕事柄英語を使っていて、国際案件も扱っています。だから、グノの教材で出てきた英語について、僕が「今日こういう表現が出てきたよ」と話すと、母が「その表現はよく使うね」とか「ビジネスだったらこんな表現が別にあるよ」「その表現は知らなかった」などと会話がはずみました。僕は永田君と同じ学校で、普段から一緒に通塾していました。山手線の20分くらいの間に教材について互いの意見を出し合うことはよくありました。

英語はどうしても感覚で読むことに陥りやすく、よく分からないけれど、こっちのほうが正しい英語のような気がする」となりがちです。だから、二人で検討し合うのはいい加減な感覚から抜け出すきっかけになっていました。**永田：**授業中に出てきた単語の語源などの話も、お互いにリマインドするように確認し合いました。あとは、点数自体に意味があるものではないとはいえ、お互いのモチベーションにもつながったものとして、サミングアップ*の点数で競いました。鈴木君がリスペク

トにあふれた先生のモノマネをしていたのも印象的です。

北原：親には「とにかく最高な塾だ」と褒めちぎっていました。グノから帰宅するとちょっと興奮状態になっていて、しょうもないこともよく話していました。学校には、グノに通っている友達是一人もいなかったと思います。でも、高1の時に僕の英語の成績が急にバンと上がったので、「お前、どうした？」と聞かれて、「グノに通ったんだよ。めっちゃ良いよ」と答えたことがありました。

谷本：私も家では親に、「先生との距離がすごく近いし、生徒一人ひとりに向き合ってくれる」などと話していました。学校では、グノの違うクラスの人たちと「この先生はこんな感じ」と、先生の話をしていました。グノの先生はどの先生も熱心なんです。一人ひとりが個性的で授業のスタイルも特徴的なんです。

グノーブルの英語

谷本：単語帳の暗記をやらないのが不安で、最初はちょっとやっていた。でも、「単語帳の勉強では通用しない」と気づいてやめてから、すごく成長できたと思います。単語帳の勉強だと、文の中で単語がどのように使われているかを考えずに、決まった日本語をあてはめていくことになって、文全体の内容が入ってこないのです。グノの、教材の文脈の中で理解するというやり方を心掛けたら、同

じ単語でもその文章の中での捉え方が分かり、英文全体の内容が頭の中に入ってくるようになりました。それから、グノで扱う英文の内容がすごく興味深いものでした。受験以外のことも教養として学べる内容でした。知らなかったことに触れられて、知っていたことも「こんなふうにも考えることもできるんだ」と深く知ることができました。新聞記事や小説など、形式も多岐にわたっていて、これからいろいろな英文を読む中で役に立つと思いました。

北原：めっちゃくちゃ伸びました。受験的な面でいくと、本当にできない状態から始まったので、みるみる上がっていった感じでした。最終的には「時間がない」と言われる東大英語も、本番では15分余りました。

「速く読もう」と考えずに、グノで言われたことだけをやっていた結果です。実用面では、サミングアップの付属の音声めっちゃめっちゃ速くて、ニュースと同じスピードですが、それを聞き続けることで聞き取る力がすごく上がりました。



たにもと はる こ
谷本 温子さん
東大文 II・筑波大附属

それから、単語を単語帳の一語一語で覚えていない分、一つひとつのニュアンスが自分の中に染みついていて、英文を読んだ時、筆者が表したいニュアンスを汲み取れるようになりました。

永田：僕も伸びましたが、特に高3では主にスピードが伸びました。6月に初めて東大形式の問題を解いてみた時に、英作文が丸々残って全然解き切れませんでした。でも、冬の直前期には、過去問をやって、5分～10分は余るくらいになりました。

実用的な面では、リスニングがすごく伸びました。BBCのラジオやネイティブ向けのYouTubeの動画などを見ていると、字幕なしでもとりあえず大意は分かって、話の流れもつかめるようになりました。

鈴木：伸びたのは事実ですが、単純な伸びではなくて、英語に向かう時の感覚が全然違うものになりました。英語が得意だと思っていた中学時代は、英語を日本語に変換しながら読み取っていました。でも、グノの授業を受けて、英語を英語のまま理解する、英語を英語の語順のまま理解する読み方を知ったので、そこからは本当に読むスピードが速くなりました。英語のニュアンスをそのまま理解できるので、内容をつかめる感覚があって、日本語を通さなくても英語を理解できているのを感じられました。英語を英語のまま理解できているのを一番感じるのはリスニングです。リスニングは返り読みができません。相手が1度言ったことはもう出てくるわけがありません。



ながた たいし
永田 泰士さん
東大文 I・開成

そういう時に、「ネイティブの人は英語を前から理解していったるんだろうな」と改めて感じました。

先生は「英文と対話を」とよくおっしゃいます。例えば、「私は食べた」という表現が来たら、次に「何を？」と僕たちは思います。英語を読みながらそういうのを推測して、「次は何が出てくるんだろう？」という心構えをつくっておく読み方や聞き方ができるようになって、英語の伸びを実感しました。

平賀：最初に読解が順調に伸びていった、共テの同日模試でも良い点を取りました。ただ、英作文が得意ではなく不安でしたが、高3からどんどん演習量が増えていった、秋にはもう英作文も克服できました。そこで英語の点数が安定しました。最初は「英語を英語のまま」と言われて、「本当にできるようになるのかな？」と思っていました。1回読んだことのある文章を音読すると、英語を英語のまま読むことが、ある程度できますが、「これで本当にできるようになるのかな？」と不安です。でも、夏の東大模試で1Bの文章を読んだ時、

* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

スラスラ内容が入ってきて「英語を英語のまま読めている」と実感しました。そこで「音読が重要だ」と改めて思い、ずっと続けていました。

岸：僕も、点数は伸びましたが、それ以上にいろいろ伸びたと思います。

大げさに言うと、言語学習者としての態度を身につけられました。英語と日本語はあらゆることが違うのに、英単語を覚える時には、英単語の意味を日本語に置き換えて一対一で覚えていけると考えるのは奇妙です。

グノではそこを丁寧に指導してくださいます。英語を英語で理解するとか、1回学んだ英文を聞いて音読するとか、英語に対するリスペクトを感じて、それは他の言語学習にも通じると思いました。僕は先輩から「東大英語は、英語を武器にする人ではなく、英語を道具にする人が受かる」と聞いていて、「本当にそうだな」と思っていました。グノではそれを体現できます。

グノの英作文は英語力だけを問われているわけではありません。毎週の100～120ワードのエッセイを書くのは、しんどかったけれ

ども、すごく楽しかったです。僕は真剣に考えるタイプで、自分の考えをひねり出すと60～80ワードでは足りません。でも、120ワードだと、「言いたいことを英語で表現する」という感覚が出てきて楽しくなりました。

グノーブルの音読

岸：音読の継続で、読むスピードも間違いに速くなりましたが、リスニングもめちゃくちゃできるようになりました。

わざわざ市販のリスニング教材を使う必要もありませんでした。大学受験の問題でも、聞く部分で困ったことはありませんでした。リスニングは頭の中で聞いた英文をなぞって音読するような状態なので、音読が効果的だと思います。

平賀：音読は効果があります。やっているうちに伸びを感じるといっても、毎日繰り返しやっているうちに成績に反映されていきます。最初は続けるのが難しいかもしれませんが、やはり継続が一番大事だと思います。

鈴木：僕も音読はやっていました。やっているうちに、抑揚をつけて英文を読めるようになりました。そして、「今筆者が言いたいのはこういうことなんだな」と分かるようになりました。

もちろん試験で音読したら退場ですが、僕はちょっと口を動かして読んでいるようにしました。そうすると、「ここは大事だな」という文で心の中の声が上ずったり、「よくよく考えると、これは何を言っているんだ？」というのも感覚として分かったりして、英文が



スッと入ってきました。英語を受け入れる基礎を音読が形づくってくれたと感じました。

永田：授業で先生から教わったことを頭の中で復習しながら読むことによって、英文の中のアクセントや主題など、文章の流れを読み取れるようになるのが大きかったです。

音読は楽しめたので、帰宅したら「やるか」と自然にやっていました。

北原：受験が近づいてからの英語の勉強はほとんど音読だけで、入試直前1週間ちょっと前は過去問と英作文をやったぐらいです。音読を1日45分やっていました。やっているうちに、授業で「理解した」と思っている英文でも、「この表現はこういうことを伝えたくて筆者は使っているんだ」とか「ここは勘違いしていた」とか、パッと閃きを得る瞬間があって、そういう時に知的に興奮できて楽しかったです。

谷本：私も毎日音読をやっていました。気軽にできるので、他の勉強に疲れた時や眠くなった時でもやりやすかったです。

同じ文章を読んでいるはずなのに、毎回読むたびに新しい発見がありました。読みながら、「この文章から得られることがまだあるな」と思いました。

グノーブルの英語の特徴

谷本：同じクラスの誰も置いていかれることなく、全員がちゃんと理解できる授業でした。先生が常にクラスにいる一人ひとりに気を配ってくださるのをいつも感じていました。私も解説を聞いていて、自分で分かっていたつもりになっていたところの奥にある意味が分かったりとか、自分では気づいていなかったところに「はっ」とすることがよくありました。

北原：授業中に演習できるところが良かったです。演習中に周りからプリントをペラッとめくる音がすると、「あの人はもう終わっているのかな」と思って、周りと静かに切磋琢磨できます。あの演習中の雰囲気すごく良かったです。

宿題だと「辞書を使うな」と言われていても辞書を使ってしまうし、ダラダラ考えてしまうこともできます。授業中に演習することで、「ここが知りたい」という気持ちが生まれるし、その気持ちのおかげで解説を集中して聞けるので、授業から得られるものが多くなります。

他塾でも、直前期の世界史演習講座で採点してもらえましたが、答案が返って来るのは1週間後で、正直に言って、自分がどう回答を書いたかを覚えていません。一方、グノーブルはその場で返ってくるので、新鮮さがありました。

永田：僕も授業中の演習がすごく良いと思っています。限られた時

間の中で膨大な量の長文を解き切るのは、最初の頃はかなり難しかったです。「解き切れなかったのが悔しい」となって、「次週までに音読して、復習しよう」「速く読めるようになると良いな」などと思いました。そういう点もスピードの向上につながったと思います。

鈴木：良かった点は、理解を試す問題がたくさん用意されていたことです。

例えば、要約問題では英語で読んだ文章を頭の中で一旦整理する必要があります。論理体系を一度自分の中に入れ込んで、それを噛み砕いて日本語として今度はアウトプットしないといけません。だから、精密な理解や体系的な理解が必要になります。この練習は本当に大事だと思います。自分で論理的な思考が身についたと感じるきっかけにもなりました。

要約問題に限らず英語の読解問題では、筆者の思考を理解できないと答えられない設問、登場人物の気持ちに感情移入しないと解けない問題がよくありました。そういう問題に向き合っているうちに、英文の中に入り込んでいけるようになったと思います。

平賀：文法用語を多用しないのがすごく良かったです。

学校や参考書では文法用語を多用して解説するので、理解に時間がかかりました。一方、グノは、英語を前から読んで理解する力を養うことを念頭に置いているので、文法用語を使って構造解析しなくても、ネイティブのように捉



えていく解説をしてくれます。前置詞や動詞の説明だと、先生が黒板に絵を描いてくれたり、ジェスチャーで説明してくれます。だから、スラスラ伝わってきて、しっかり理解できました。

岸：サミングアップが一番好きでした。それが高2の冬からは毎週あります。論理的な理解ができるようになると、毎週点数がどんどん上がっていったり、解く時間がどんどん短くなっていったりするので、自分に力がついているのを実感できます。

実は満点が取れたのは、直前講習の時から初めてで、本当に自信ができました。

サミングアップの文章は、復習しがいのある内容の濃いものもよくあったので音読にも最適です。短いので、GSL*での耳や口を鍛えるのにも適していました。後輩にも存分に活用してもらいたいです。

グノーブルの数学

平賀：グノに通っていなかった時は、1問1問を解いて、「これはこういう解法なんだ」と覚える勉強でした。

* Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。



ひらが えいさい
平賀 瑛斎さん
東大文Ⅱ・駒場東邦



グノに入ってから、その場限りの解法ではなく、「この単元では、あの解法もこの解法もあるけれど、今回はこういう問題だからこの解法を選ぶ」という感じでフローチャート化する手法が身につきました。すごく問題を解きやすくなって、成績が上がりました。高3の後半に演習をするようになった時、取るべき問題と捨てても良い問題を判断して点数アップにつなげる能力も養えました。セルフチェックシート*には、「自分がどうして間違えたのか？」などを書くので、ただ脳内にとどめておくよりも客観視しやすかったです。それを保存しておくことで、同じ問題を解いた時に「同じ間違いしちゃったな」とか「前回よりも成長しているな」とか、そういう振り返りができて成長につながったと思います。

グノーブルの国語

谷本：ものすごく楽しみながら受けられる授業がグノの国語でした。私たちが演習した問題を先生が解説してくださいます。その解説の

具体例がすごく面白いし、分かりやすく、教室には笑いが絶えませんでした。しかも、教養が深まる内容や物の見方なども教えていただけて、毎週通うのが楽しみでした。

北原：具体例が分かりやすくて面白いというのは本当にそのとおりです。特定の解答方法を強要しないのも特徴でした。他塾では、「こういうのはこう書く」みたいに、型にはめた解答方法を指示してくることも多いと聞いていました。グノの国語はそうではなく、自分なりの表現で書くことが許されていて、それをどう改善すればいいかの添削を受けることができました。直前期の添削も助かりました。共通テストが終わってからは東大の過去問の添削をたくさんお願いしていました。とても細かい添削をしてもらえました。

谷本：私も直前期の添削はすごくありがたかったです。赤本の模範解答と照らし合わせても、自分では判断がつかないことがよくありました。それを先生に出すと、具体的な改善点を示していただけました。「この年は漢文が難しかったよね」とか「この調子で本番も落ち着いて頑張るってね」とか、そういうコメントをつけていただけるのも精神的なサポートになってありがたかったです。

永田：僕は高2で古文、高3で東大国語をとっていました。高2で1年間とった古文で、文法がじっくり来るようになって、そ

こから古文が読めるようになりました。

東大国語では主に現代文で、哲学者がよく分からない言い回しで書いている文章を、先生が具体例で身近にしてくださるので、つかみやすくなりました。僕も添削には本当に感謝しています。普段から授業を受けている先生に添削をしてもらえて、どういうふうに直したらいいのかを知れるのは大きなメリットでした。自分の解答の中で何が不要で、どういう要素を足したらいいのかを具体的に教えていただきました。

平賀：まずは、ぴったりの教材が毎週いただけるのがすごくありがたかったです。ちょうど良いレベルでちょうど良い演習量の教材を自分で見つけるのは、大変なことだと思います。早くから共通テストに向けた対策もやっていただけたのも良かったと思います。過去問をやるだけで本番に十分対応できました。

岸：僕は冬期講習と直前講習の東大国語だけしかとっていませんが、とてもお世話になりました。直前期に、「聞かれたことに答える」という部分を見直せて、すごく効果がありました。添削も出せる分は全部出しました。

グノーブルの先生

岸：グノの先生は、尊敬できる人生の先輩みたいな存在で、全員個性的でした。

国語の先生は、僕が書いた解答に痛快感を指摘してくださいました



が、それが楽しみでした。英語の先生は生徒たちをどんどん話の中に巻き込んでくれましたが、それもすごく好きでした。少人数で先生と生徒の距離感が近いので、答案作成力を上げるのに必要な指導が行き渡っています。質問にもいきやすく、細かいアドバイスもいただきました。グノは素晴らしい先生が集まっている塾です。パンフレットには「東大までの人間ではない人間を育てたい」という話があって、僕は「まさにそうだな」と思いました。「こういう大人になりたいな」という先生がいらっしゃって、その先生の話を聞いていると「面白いな」「詳しいな」「すごいな」と感動するので、生徒の成績も上がるのだと思います。

平賀：一番びっくりしたのは、メールへの返信がとても早かったです。英語の先生に質問メールを出したら、数分で返信が届いたこともありました。生徒からメールが来たのが分かった瞬間に対応してくださるのに感激しました。個性豊かな先生が多いから授業が面白くて、話題にもしやすく、通いやすかったです。

鈴木：先生が最初の授業から名前を覚えてくださって、「生徒一人一人を見てくれているんだな」

と感じて、それが信頼につながりました。ある時、ネットで「グノーブル」というワードで調べてみたことがあって、英語の先生の12年前の動画を見つけました。当時から先生は一人ひとりを見ていくことの大切さを話していらっしゃって、それが今も何も変わっていないのが印象的でした。授業に参加する時にも、いつも「信頼してついていこう」と心から思えたので、グノの勉強にはいつも前向きになりました。

永田：先生方が毎回その日のクラスの様子に合わせて授業をしてくださっているのがひしひしと伝わってきました。だから、友達と話していても、「その話をこっちのクラスではしていなかった」ということもありました。定型の授業を繰り返すわけではなく、毎回の授業が新鮮であることが印象的でした。

北原：グノの先生は生徒想いです。先生が生徒の状況を把握することは他塾ではそうあることではありません。生徒の名前や性格を覚えるのは大変だと思います。それなのに、グノの先生方は1回目の授業から親しく接してくださるのが良かったです。あとは、英語の先生の板書が異常に速くて、ついていくのが大変でした。その先生の筆圧が強すぎて、一番前に座っていた僕の筆箱は、授業が終わる頃にはいつもチョークの粉が綺麗にまぶされていました。本当に良い思い出です。それぐらい熱心に授業されていたことに感動していました。**谷本：**すぐに名前を覚えて当ててくださるのは、他ではまずないこ

とだと思います。質問や勉強の相談も、メールでも、直接お伺いしても、すごく親身に対応してくださいました。先生の言葉遣いから、生徒一人ひとりに向き合ってくださいているのを感じていました。それから、受付には自習室の利用や教材の受け取りなどでお世話になりましたが、受付の方たちにもいつも本当に丁寧に支えていただきました。

後輩へのアドバイス

岸：これは半分冗談で半分本気ですが、一番前で授業を受けてください。僕はいつも先生のすぐ目の前で授業を受けていました。先生の熱量がものすごいので、その熱量を一番前で受けるのは、国語でも英語でも楽しかったです。先生とも仲良くなれて、モチベーションもアップします。後輩の皆さんにも、勇気を出して一番前に座ってもらいたいし、気に入ったらずっとそこで頑張ってもらいたいと思います。

平賀：受験勉強で一番大切なのは、自分に一番必要なことを勉強することです。グノに通っているなら、良い教材があります。過去問演習をして満足するのではなく、グノの教材をしっかり復習して、まずはそこを完璧にしま



*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール



うほうが良いです。

グノの英語に通ってれば、過去問演習は最低限しか必要ではありません。僕は、直前期にも過去問を1年分もやりませんでした。その分、ヤバかった社会に時間を回せました。

過去問をやらなくても、英語はグノの復習をしていたから失敗しませんでした。周りに合わせずに、自分が本当に必要なものをやってください。

鈴木：英語は積み重ねです。最後のほうになって「英語ができないから、単語帳をもう1周するわ」みたいな人たちもいましたが、誰も僕には勝てませんでした。英語は積み重ねなので、例えば1日に100単語を覚えられません。1日10単語ずつを続けるほうが絶対に楽です。グノの語源からの解説でしっかりと単語のイメージをつかみながら英語を毎日続けてください。

学校の行事は全力で楽しんだほうが良いということも付け加えておきます。僕は学校行事の中心に参加してきた側で、5月の中頃は本当に全く勉強しませんでした。でも、学校行事に打ち込むことで「よし、もう終わり。次は受験勉強だ」と切り替えられるので、中途半端にやっていいことはありません。全力で楽しみたいならメリハリが

一番大事で、気持ちを入れてから勉強したほうが良いと思います。

永田：他塾に通っている友達がたくさん、単語帳の暗記を懸命にやっていたり、全く焦る必要はありません。グノのやり方を信じていれば大丈夫です。

それから、音読は本当に続けたほうが良いと思います。音読のおかげで本当に伸びました。東大は英語の点数の影響が大きいです。英語を読むスピードがつくとアドバンテージになります。英語力全体が伸びる音読は継続してやりましょう。

北原：みんなが言うとおり、音読がすごく大事だと思っています。グノの英語の授業は、東大専門じゃないのに、東大の受験においても、「東大英語専門じゃないか？」というぐらい東大英語ができるようになるので、グノの先生が言うとおりに勉強してほしいです。

それから、国語は1月、2月に細かい添削が受けられるので、それをたくさん活用してほしいと思います。

谷本：私も音読が大切だと思います。最初は「本当に効果があるのかな？」と思うかもしれませんが、やっているうちに本当に伸びます。絶対におすすめしたいです。それから、私も、過去問をどんどん進めている他塾の友達の姿には焦りました。でも、私はグノを信じていましたし、それで実力がちゃんとついたので、「グノを信じてやれば必ず実力がつく」と後輩の皆さんには伝えたいです。あとは、1回1回の授業の中身が濃いので、振り替えなどを活用し

て学校と両立しながら、休まないようにできたら良いと思います。

**受験報告日に
いただいた
メッセージ**

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。

東京 大学 文科Ⅲ類 進学
出身高校 **駒場東邦高校**
メッセージ **第二の実家です。**

東京 大学 文科Ⅰ類 進学
出身高校 **都立富士高校**
メッセージ **熱心な先生方に囲まれて最高でした！**

東京医科 大学 医学部 進学
出身高校 **豊島岡女子学園**
メッセージ **高1から3年間お世話になりました！
今までありがとうございました！**

東京 大学 文科Ⅱ類 進学
出身高校 **開成**
メッセージ **グノ至高**

東京 大学 文科Ⅱ類 進学
出身高校 **筑波大学附属高校**
メッセージ **Gnoble 大好き!!
本当にありがとうございました!!**

東京 大学 文科Ⅰ類 進学
出身高校 **開成**
メッセージ **社会への興味を湧か
てくれる授業が本当に
楽しかったです！**

早稲田 大学 創造理工 進学
出身高校 **サレジオ学院高校**
メッセージ **先生に教えてくれた復習、
音読で成績が伸びました。**

東京理科 大学 創成理工学部 進学
出身高校 **鵜飼学園女子**
メッセージ **Gnobleのおかげで
英語が大好きになりました！
授業楽しかったです！
ありがとうございました!!**

東京 大学 文科Ⅱ類 進学
出身高校 **駒場東邦**
メッセージ **受験に行けるのに
成績はゲンゲン伸びました！
ありがとうございます!!**

18期生合格者 インタビュー

Part4



中学受験グノーブル卒生



いけうち ねね
池内 寧々さん
東京医科歯科大医・桜蔭



しぶた たいゆう
渋谷 大湧さん
東大理Ⅱ・海城

座談会出席者 五十音順、本文中欧敬略

医学部志望の動機

池内：高校生になって「将来どのような職業に就いて、どういふうに社会に貢献していこうかな？」と考えた時、私のお世話になっているかかりつけ医の先生のことか思い浮かびました。その先生はいつも目を見て優しく問診してくださって、私は受診ただけで安心したような気持ちになります。健康というのは、私たち人間にとってすごく根本的なものであるからこそ、「医師という職業は、人々に大きな安心や希望を与えられる職業なのではないか」と考えます。だから、私も「医師として社会に貢献していきたい」と思い、医学部を志望しました。



いけうち ねね
池内 寧々さん
東京医科歯科大医・桜蔭

グノーブル入塾のきっかけ

池内：中学受験の時は親が評判を聞いて勧めてくれました。先生が生徒のことを一人ひとりよく見てくださいました。私も、授業のあとに先生から話しかけてくださったりすることがあり、アットホームな塾だと思っていました。吉祥寺校に通っていて、印象に残っているのは国語の授業です。扱った文章の内容から話が広がり、気がついたら人生で大切な話になっていることもありました。中1、中2では塾に通っていませんでした。中3の時に塾に通い始めたいと思い、グノの夏期講習に参加しました。大学受験グノーブルもアットホームな雰囲気、先生が生徒の理解度を把握しながら授業が進みます。そういう授業に好感が持てたので、グノに入ることにしました。実は、他塾の体験授業にも行ったことがあります。その時の英語の授業は暗記ばかりでした。先生が一方向的に授業をしていて、先生と生徒の距離も全然近くない感じがしました。大学受験グノーブルには、中学受験グノーブルと同様に先生に対す

る信頼感が持てましたし、勉強に前向きになれる空気が教室の中にあると思えました。

渋谷：高1の春に英語で入塾しました。先輩が「グノーブルの英語の授業が良いよ」と言っていたので、それを聞いて興味を持ったのがきっかけです。高2の冬から数学もとりました。グノを選んだのは、宿題が多くなっても効果が上がるので、他科目の勉強と両立できそうだったからです。比較的少人数なところも気に入りました。

グノーブルに通ってみて

渋谷：毎回の授業で新しい発見があって、自分の英語力が上がっていくのを感じて楽しかったです。例えば、英語の授業では、単語だったら語源から、文法も成り立ちから解説していただけたので、無理に授業に向かおうとしなくても自然に集中できました。

池内：周りの友達はみんな宿題に追われていました。グノでは、授業で扱った英文の読み込みと音読だけが宿題だったので、他の教科にだいぶ勉強時間を回せて、すごく助かりました。

グノの先生は「英単語と日本語は一对一对応しているわけじゃない」とおっしゃっていて、英文を英語のまま読むことを教えてくださいました。

私は、先生に言われたとおりに音読や英文の読み込みを続けるうちに、英文を日本語に訳さずにそのままスラスラと読めるようになってきました。周りの友達が単語帳の暗記をしたり、分厚いテキストをやりこんでいるのを見て初めは不安になったこともありますが、英文を読めるようになってすぐに不安は解消されました。

渋谷：僕も、周りとの勉強法の違いに不安を持ったことがありました。でも、その日の授業の復習や音読で力がついていくのを実感できていたし、グノの先生がくださった英語の勉強方法の話に説得力があったので、グノを信じて頑張りました。

グノーブルの話題

渋谷：グノは英単語も英文法も、成り立ちから説明してくださるのが面白くて、どんどん知識が広がっていく感覚があって、すごくためになりました。友達ともよく

話題にしていました。

英語の読解教材の内容についても時々話題になりました。科学的、社会的、哲学的な話題も広く扱ってくれて、毎回の授業で英語以外のところでも学びがあるのが面白かったです。

池内：家族からは「英語の勉強をしているのを見たことがない」と言われました。それくらいグノは宿題が多くな、効率的に英語の勉強ができていたのだと思います。普段の勉強では、通学途中に音読したり、英文の音声教材を聞いたりしていました。家では授業で扱った英文の読み込みをしていました。確かに、英語のために机に向かっている時間は圧倒的に短かったです。

グノーブルの英語

池内：気づかないうちに英語力が伸びていました。直前期になって過去問を解き始めたら、初めて見る英文にも対応できるようになっていて、「こんなにできるようになっているんだ」と自分でもびっくりしました。単語を単語帳で暗記させるのではなく、授業中に語源などを教えて



しぶた たいゆう
渋谷 大湧さん
東大理Ⅱ・海城

くださるので、新しい単語を見た時も意味の推測がしやすくなりました。新しい単語を暗記していく時も、自分がすでに知っている単語に結びつけて暗記できます。だから、単語帳の暗記をしてきた友達に比べて、これからは英語の語彙を簡単に増やしていけると思っています。

あと、グノでは、英文を日本語に置き換えないでどんどん前から読む読み方も指導してくださいました。格段に英文を読むスピードが上がりました。この読み方は本番ですごく役に立ったので、これからは役に立つはずですよ。

それから、先生は、英文の背景に及ぶ解説も詳しくしてくださいました。筆者が何を意識して文を書い

たのか、英語圏ではどんなことが常識なのかなど、いつも興味が持っていました。そのおかげで、初めて見る英文もどんどん読める土台が養われたのだと思います。

医科歯科の過去問は先生に添削をしていただきましたが、先生からは「正確に読み、的確にまとめる力が十分に備わっています。落ち着いて臨めば大丈夫」とコメントをいただき、それが自信になりました。入試本番の英文も臆さずに取り組みました。

渋谷：通い始めた頃は英語が苦手で、成績も悪かったです。でも、グノに通い続けていくうちに、どんどん成績が上がっていった、最終的にそれなりの成績を取ることができました。

グノでは受験科目としての英語の点の取り方ではなく、英語という言葉への取り組み方を指導してもらえました。グノに通っているうちに、まず、「英語を読む脳」ができたんだと思います。

英文を前から捉えて行って、返り読みしないので、英語を読む上での下地ができました。

大切だったのは、GSL*で「耳」と「口」を鍛えて音読を習慣化したことです。リスニングも音読も

絶対に前に戻れないので、英語を前からどんどん処理していく訓練になります。この訓練を習慣化することで英語を扱う脳が鍛えられたのだと思います。

池内：私も、隙間時間を見つけては音読していました。毎日音読をしていくにつれて、「英文を読むスピードが上がっているな」と感じられて、その気持ちももっと頑張るモチベーションにもなりました。

音読する英文は、授業で扱ったプリントです。授業で最初に演習した時にはうまく読めなかった英文でも、英文の背景まで先生が解説してくださるので、かなりしっかり理解できます。それでも、音読してみると内容まではすぐに入ってきませんが、繰り返しているとだんだんと、書かれていることを意識しながら読めるようになります。

それを続けていくうちに、初めて読む英文でも、前から順番に意味が自分の頭の中に入ってきて理解しやすくなりました。

私は音読する前にGSLでネイティブのスピードで聞いてから、その聞いた音声をまねて読んでいました。特に直前期に音読を頑張ったので、そこで実力が上がったと思います。

渋谷：グノの英語は授業自体が面白かったです。それはグノの先生が本質を大切にされているからだだと思います。

特に、授業で扱う英文の内容が面白いのですが、というのもグノの教材は過去問中心ではなくて、先

生が僕たちに合わせて教材を用意してくださるからです。楽しめるものを準備してくださるから当然、どの教材にも興味が持てます。学校では習わない単語の語源を教えてくれること、文法を深く掘り下げてくれることなど、そのほうが効果が上がるばかりか、見えていなかった奥が見えてくることで思わず興味が引かれます。

池内：周りの友達は単語帳を使っていました。一見すると、単語帳で片っ端から覚えるのが手取り早いように思えます。でも、英単語の日本語訳を覚えるだけでは、英文を表面的にしか読めないのではないのでしょうか。

グノの先生が授業中におっしゃるお話にはとても納得がいきまして、そのとおりに、英文の読み込みなどを毎日少しずつ積み重ねることが、実は一番効率が良い勉強法だったと思います。

グノーブルの数学

渋谷：僕は高2の頃数学が伸び悩んでいました。中学や高1の頃は数学が得意でしたが、周りにどんどん追いつかれていた感じがして、危機感を抱いて、グノに通い始めました。

グノの数学が良いことは、周りの人からも聞いていました。

グノの数学は、解法をただ教えるだけでなく、「どうしてその解法を選ぶのか？」まで説明してもらえたのが良かったです。頭の中にすでに入っていた知識が整理されて紐づけられたことで、得点力に



つながったように思います。

グノーブルの先生

池内：どの先生も、担当して間もないうちに生徒全員の名前をすぐに覚えてくださいます。

私はそれにびっくりしましたが、先生が生徒たちのことを覚えてくださると、教室の中にもものすごくアットホームな雰囲気が生まれます。そうすると質問にいく時にためらいを感じることもありません。

アットホームだけでなく、授業は先生と生徒のやりとりで進むので、指名されるかもしれない緊張感があって、集中して授業に臨めました。

先生と生徒の距離の近さは中学受験グノーブルと似ているなと思っていました。先生方はいつも生徒一人ひとりを気にかけてくださっていると感じていました。どの生徒にも気を配ってくださいます。それは、添削のコメントにも感じられますが、先生が生徒全員に話している時にも感じられます。

勉強するモチベーションには先生の存在が大きいと思います。私は、中学受験でも大学受験でも良い先生に恵まれたと思っています。

渋谷：僕も先生の存在が大きいと思います。グノの先生方は、授業

でも、質問や相談の時でもいつも丁寧で、それがとても印象に残っています。生徒のことをよく気にかけてくださって、個人の傾向などもちゃんと理解してアドバイスをしてくださいます。

先生が解説で手を抜くこともありません。グノの授業は、ただ知識を教えて詰め込ませるのではなく、「どうしてそうなるのか？」とか「どういう経緯があるのか？」とか、僕たちの好奇心を刺激しながらどんどん深く掘り下げていきます。だから、1回の授業ですごく学びが多かったのが一番良いところでした。

後輩へのアドバイス

渋谷：グノの授業は中身が濃くて効率が良いので、授業に集中して授業の時間を活かしましょう。

授業以外の時間をいかに使っていくのかも大切ですが、グノの先生の指示に従っていれば、授業外でも効率的に復習ができると思います。グノで受講している科目については、安心してグノを信頼してほしいと思います。

それ以外の時間は、うまく他の教科の勉強に充てていけると良いと思います。

池内：グノの先生と教材を信じて、教えていただいたとおりに復



中学受験グノーブル 伊藤（琢）先生 から池内さんへ

大学へのご進学おめでとうございます。池内さんの弟様もグノーブルに通ってくださいましたので、私を含め担当講師は「お姉様は今高校〇年生か」と思い出す機会も多くありました。

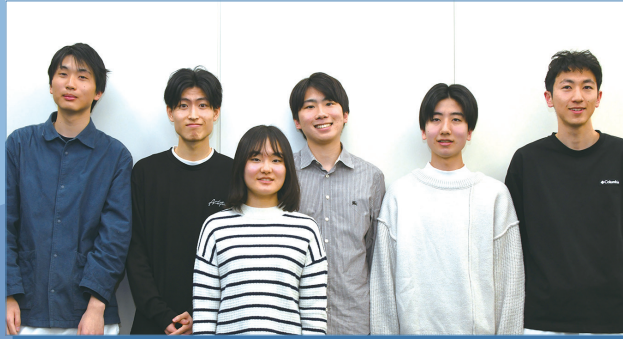
中学受験時の池内さんは素晴らしい集中力と理解力で授業に参加していただき、鋭い視線で黒板を見ているので、こちらもちの確な伝え方をなるべく良い緊張感を感じることがよくありました。

入試合格は当然の過程として、今後もより一層のご活躍をされることと思います。

* Gno-let Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

18期生合格者 インタビュー

Part5



いとう ゆう き
伊藤 優希さん
東大理 I・早稲田



しのはら かつ き
篠原 克希さん
東大理 I・海城



しんどう はるか
新堂 悠さん
東大理 II・桜蔭



たしか ふみひこ
田坂 文彦さん
東大理 I・早稲田



はやしりょうせい
林 亮成さん
東大理 II・麻布



やまだ ひろ き
山田 大貴さん
東大理 I・早稲田

グノーブル入塾のきっかけ

林：兄がもともと中学受験グノーブルに通っていました。親からも「グノーブルは良い」と聞いていて、中学受験グノーブルに入りました。

中3まではほとんど勉強していなくて、高1で大学受験のことを考え始めた時に中学受験の頃の楽しかった思い出もあり、周りでもグノの評判が良くて、特に、英語ならグノだという声もあったので、大学受験でもグノーブルを選びました。英数同時に入りました。

伊藤：入ったのは高2の冬です。学校の友達に、帰国生ではないのに英語がすごくできる人がいて、その人がグノに通っていました。



いとう ゆう き
伊藤 優希さん
東大理 I・早稲田

友達のお兄さんもグノで勉強して志望大学に受かっていました。他でも、英語の評判はとにかくグノが一番だったので、グノを選びました。

篠原：入塾したのは中3の1学期です。英語ができなくて塾を探し始めたのですが、知り合いにグノで講師をしている人もいたので、グノの授業を受けてみて気に入りました。

山田：僕は高校1年の時、夏期講習から通っています。その頃は英語がすごくできませんでした。学校で「英語の塾はどこが良い？」と聞いていました。「英語はグノ」と言う人が多く、実際にグノに通っている同級生も多かったので、夏期講習を受けてみて、気に入ったのでそのまま入りました。

田坂：僕は高2の夏に英語で入りました。僕も英語ができなくて不安だったので、「受験のために英語の学力を上げたい」と思っていました。先に入っていた山田君から「グノが良いよ」と聞いてグノを選びました。

新堂：私は高2の4月に入りました。

友達のお兄さんもグノで勉強して志望大学に受かっていました。他でも、英語の評判はとにかくグノが一番だったので、グノを選びました。楽しく英語が学べて受験勉強もできる塾を探しました。グノに通っている先輩がいて、数学も勧められたので英数ともグノに決めました。

グノーブルに通ってみて

山田：中学に入ってから塾に通っていなかったのですが、夏期講習を受けてみて「やっぱり評判の良い塾の授業は密度が違うな」と実感しました。グノだったら「この塾でちゃんとやっていけば成績が上げられる」と思いました。

田坂：英語を嫌いにならず、楽しく勉強できるのがグノの授業です。

もちろん、「覚えなければいけないことはある」とは言われますが、「とにかく覚えなさい」などということは絶対にありません。文法も単語も根幹から理解できるように説明してもらえますし、生徒が忘れていても、先生はもう1回同じことを優しく説明してください。僕にとってはとても通いやすい塾でした。



しのはら かつ き
篠原 克希さん
東大理 I・海城

新堂：楽しく通えて、受験の準備もできることをグノに求めています。高2で習った先生はとても面白く授業を進めてくださって、私は「入って良かった」と心から思いました。

他塾に通っている周りの人たちは宿題が多くて大変そうでしたが、グノは量をこなすことに重点を置く塾ではなかったのも良かったです。

篠原：中学受験で通っていた塾はかなり厳しくて嫌になってしまいうくらいでした。でも、グノは気楽に通えて、成績もかなり上がったので良かったです。

他塾に通っている人は宿題が多くて、学校の授業中にやっている人もいました。一方、グノの宿題は

多くありません。授業中の演習と解説が中心で、復習で実力が伸びる塾です。数学も量をこなすことが中心ではなく、フローチャートみたいな感じで頭の中が整理されながら力をつけられたので、どんどん発展させられました。

伊藤：グノの宿題は多くありません。解説では、「こう復習したら英語がうまくなるよ」という感じでコツを教えてもらえます。

授業中は集中して理解して、それを復習で身につけるのが習慣化されれば、英語がどんどん上達していきます。自分のペースに合わせて、苦しむことなく、英語の成績が上がりました。

塾の宿題だからとやらされている状態にならずに、主体的に取り組めたのが良かったです。

林：宿題に追われなくてすんだのは本当に良かったと思います。塾によっては「学校での内職が基本」になっていて、部活も週3や週4になると、どこかで部活を休まないと塾に行けない人も多くいました。グノだったら、部活に全部出ても、ちゃんと宿題を終えられるし、復習もできるぐらいのペースでした。僕は高2まで部活

をやっていましたが、部活と塾の両立はできていました。高3から受験勉強をちゃんとやり始めた時も、自分の課題と向き合うという点でも負担の少ないグノで良かったです。僕の場合、塾でやっているところ以外にも穴があって、そういう穴を自分で確認できる時間がありました。自分には向いていたと思います。

グノーブルの英語

林：もともと読解は得意でしたが、文法の知識はほとんどありませんでした。そうすると、知識がないと解けない問題でよく詰まってしまうです。でも、高1、高2で文法の土台を築ける授業をグノ



しんどう はるか
新堂 悠さん
東大理 II・桜蔭



た さ か ふ み ひ こ
田坂 文彦さん
東大理Ⅰ・早稲田

で受けられて、それで英語を全体的に伸ばせました。

英作文も文法の知識がないと自信を持って書けません。知識がどんどんついていったおかげで、英語の成績が上がりました。

先生たちは、授業中に「受験には直接関係ないよ」と言いながら、扱った英文の背景に関わることも面白く伝えてくれました。こういう教養の部類に入る知識を多く知れるのは、楽しみでしたし、授業に積極的に参加するモチベーションにもなりました。

伊藤：高2の冬期講習からグノに入りましたが、その時から春期講習の前までに、自分でも信じられないぐらい英語がバーツと伸びました。

英語への向き合い方、英文の読み方がそこで一気に身についたからだと思います。英語を読んだり解いたりする時の考え方を教わるだけでなく、復習で自分のものにするやり方も教えてもらったので、必要な力がどんどん自分のものになっていくのを感じました。

グノで学んだ英語は大学でも役立

つと思います。大学受験の設問に的確に答えられるようになったのはもちろんです。グノではそれを超えて、英文を読みながら、筆者と対話したり自分と対話していくやり方が徹底されていました。英文から新たな知識や考え方も取り入れられるようになったし、身についた考え方を使っていく練習もできました。

篠原：入塾前は、英語の成績が学校の成績でも半分以下で、すごく悪かったです。でも、入って1年ぐらいで文法理解が進んで、長文もかなり読めるようになりました。自分でも驚くぐらい急に伸びました。

「英語を読むのが嫌だ」という苦手意識はなくなり、「英語は別に怖がるものではない、いや、むしろ楽しめる」という意識に変わりました。

伸びた一番の理由は、やはり英語の仕組みが吸収できたからだと思います。学校だと中学生のうちはほとんど文法を習わなかったもので、全然読めないままでした。そこをグノで補強できて良かったです。

新堂：入塾するまで英文要約をやったことがありませんでした。でも、グノでポイントやコツを教えてもらって、「こういう感じなんだ」と思ったのが高2の時です。単語や文法は頭に入っていたので、文章を読むだけならもともとできていました。でも、英文が読めることと、内容が理解できていくこととは違いました。読めても理解できていないと要約はできま

せん。

高3では、文章の構成などを考えて読まないといけないことが分かってきました。それまでは、英文のパラグラフがどんなものなのかも分かっていませんでした。段々筆者が主張しているところと、それを補足している部分がくっきり区別できるようになりました。

英作文のやり方を教えてもらったのもグノに入ってからです。毎週添削していただけて、英語的な文の組み立て方も身につけられました。

田坂：間違いなく伸びました。僕は学校で授業を全然聞かず、単語も覚えず、文法の理解もできていなくて、英語は本当に何もできませんでした。だから、僕はグノには高2の夏休みにEGGS*から入りました。

グノに入って一番良かったことは、英語に嫌悪感がなくなったことです。勉強に向かう気持ちが芽生えたことがすぐに伸びた要因だと思います。

塾に行って演習して、そのあとに



は や し り ょ う せ い
林 亮成さん
東大理Ⅱ・麻布



や ま だ ひ ろ き
山田 大貴さん
東大理Ⅰ・早稲田

すぐに解説を聞いて「こういうことか」とすっきりすると、「やっていることに意味がある」と思えます。

それまでは、そもそも英語の何が分かっていないのかも曖昧な状態でした。でも、グノでしっかり内容を教えてもらえて、「英語はそんなに悪いものじゃないな」と自分の中で印象が変わりました。

山田：僕も入塾して2か月くらいの時点で著しく英語の成績が上がりました。

グノは、高校1年の時に文法をちゃんとやってくれて、僕はそれをこなしていくうちに、文法分野がすごく得意になりました。高校1年生の時点で文法がちゃんとできるようになったのが、最初に大きく成績が上がった理由だと思います。

高3になるとグノの英語の授業は、読む題材を直近に決めてくれるので、世界情勢や時事問題を英文で読めます。触れる英文の量が格段に増えましたが、興味を持って読める英文をいつも準備してもらえたので、たくさんの英文に触

れることはむしろ喜びでした。それを大学でも続けていけば、英語で情報を得て、蓄えることができるようになると思います。成績は直前まで順調に上がっていききました。最後には、本番で英語にお世話になりました。数学と理科があまりできなかったので、英語に助けてもらいました。

グノーブルの英語の特徴

山田：グノの英語で良かった点を2つ挙げます。

ひとつは、一方的な講義形式の授業ではなく、先生が質問して生徒が答えたり、生徒がその場で解いた問題を先生が添削してくれたりした点です。双方向からの授業は他の講義形式の授業より圧倒的に楽しくて、英語の勉強が苦ではありませんでした。

もうひとつは、英語の語順で読めるように、音読の仕方など具体的なやり方をしっかり指導して下さる点です。グノで英語を学ぶ前は、文章を読む時は毎回、頭の中で勝手に日本語訳をつかって読んでいました。グノのやり方で音読を繰り返していくうちに、頭の中で日本語を出さずに英語を読めるようになって、読むスピードや問題を解くスピードが確実に上がりました。しかも、正確に読めるようになって、良いこと尽くめでした。

音読は間違いなく役に立ちました。英語を英語として読めるようになり、速読力がつきました。それから、声に出しながら読むので、

目で読んでいくよりも、英語の知識や単語の知識が圧倒的に頭に入りやすかったです。英語に触れるのが楽しくなり、当たり前の習慣になりました。

田坂：授業の中で先生が「パラグラフごとに話は整理されている」と何度もおっしゃっていました。英文を読む時に「このパラグラフは何が言いたいんだろう？」ということだけを考えておけば、とりあえず本筋はつかめるようになりました。

毎回の授業の最初に要約の添削があったおかげで、流れをつかむ技術が確実に上がりました。

新堂：演習して、その場ですぐに解説という授業なので、集中力が途切れなかったのが良かったです。授業中に演習したほうが集中できるし、緊張感もありました。高3では毎日音読をやっていました。最初はお手本になるGSL*のスピードが速くて、口が全然回らなかったのですが、頑張っていたらちゃんと回るようになりました。英文が面白くて、音読が他の教科の息抜きになったのも良かったです。

篠原：英語の授業で良かったのは、英文の内容を解釈していくこ



* English Grammar Green Session for newcomers:季節講習(中3冬期~新高3冬期)で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。

* Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

とが中心になっていたことです。設問に答えることができて、内容を理解しているかは別です。日本語に訳すことができて解釈が伴っていないことがあります。先生はよく「読むことは筆者と対話することだ」とおっしゃっていて、読むことイコール対話だという姿勢がグノの授業で身につきました。

英単語の学習も、英文の内容を理解していくことと切り離しては考えられません。単語の意味は文脈の中で決まっていますから、読んでいる英文で単語を身につけられて本当に良かったです。グノでは、単語の語源から説明してもらえるので、その面からも理解が深まりました。

単語帳で単語を学ぶこともある程度はできるけれど、それでは次に同じ単語が出てきた時も読めないし、さらに発展もさせられません。音読は高3で本格的にやるようになって、最後の3か月ぐらいは特に重点的に取り組みました。読むスピードが格段に上がったし、リスニングもかなり点数が伸びました。

1個1個の単語が全部つながっているようにしか聞こえなかったの

が、音読していくと自分も発音するので、あやふやなところがいぶはつきり聞こえるようになりました。音読は本当に良かったので、「もっと前からやれば良かったな」と今さらながらちょっと後悔しています。

伊藤：特に読解の授業の英文の内容が好きでした。科学的なことや教養になることなどを英語で読めるのが楽しみで、それを家に帰って復習する時に音読しながら、内容を思い返していました。苦にならないどころか、楽しく勉強できました。授業で教材を受け取る時に「今週はどんな内容かな？」と思うので、テキストをまとめて渡されるより新鮮な感じがして良かったです。

林：読解の授業で、長文の内容に関する雑談が面白かったです。宗教や遺伝子など、複雑でセンシティブな題材を扱った長文もあったので、そこに対する中立的な意見を込めた背景的な話も聞けました。日頃生活していたらあまり聞けないような、簡単には触れにくい話題を聞けるのが、モチベーションというか、グノの授業に参加する上での楽しみでした。

篠原：一番力がついたのはやはりサミングアップ*です。東大の試験では要約に時間をあまりかけたくありませんが、普段から要約をやっていることで自信がつき、そこで立ち止まらないで10分以内で解けるようになりました。あとは、グノの説明文は難しい英文を使っているという体感があって、東大の問題はグノの英文より



読みやすいと感じました。

新堂：サミングアップを毎回やっていたので、要約に対して抵抗感がなくなりました。

読解は本当にグノのほうが難しく、東大のほうが簡単でした。

田坂：東大の第5問は文学的な文章です。グノでも小説を時々扱ってくださったので、それでカバーできました。グノは東大専門の指導をしているわけではありませんが、幅広い分野を扱うので、東大の対策もしっかりできました。

山田：グノのサミングアップでは話題が抽象的なことも多く、難度は高かったと思います。それを毎週やっているの、東大の本番の要約では、1回読めば「どこを書けばいいのか？」が分かるようになります。グノのサミングアップは本当にためになりました。

グノーブルの数学

林：「テーマタグ」という考え方を教わりました。具体的には、「何をテーマにした問題なのか？」を理解してタグ付けしていくことで、解き方が思いつきやすくなるという考え方で、自分にはぴったりでした。

これをやるためには、「自分がどういう問題を解いているのか？」を客観視する必要があるって、その練習を授業の演習でできて、実際の入試でも役立ちました。

セルフチェックシート*も役に立ちました。宿題を解いて、自分がその宿題に対してどう思ったか、どういう感触だったかなどを書き残していきます。宿題の解説が終わったあと、それをもう1回見ると感覚のずれに気がつくこともあって、考え方の軌道修正ができました。「自分はこういうミスをして『合っている』と思い込んでいた」ということが何度ありました。

篠原：関連した問題を一緒に出してくれるのが一番良かった点です。それを解くことで、それまではその1問で完結していた問題が他とつながっていきます。

だから、問題数が少なくてもどんどん理解が深まりました。発展問題についても、「あれと同じような形だから、これもこうすればいい」という感じで、今ある知識を利用できる形で学べました。そのおかげで数Ⅲが特にできるようになりました。

セルフチェックシートには、自分が問題を解いた時に意識していた

ことや、その時に意識すべきだったことなどを書いていました。時間がたってからもう1回解き直した時も同じようなところで間違えるので、注意すべきところや問題へのアプローチの仕方などをセルフチェックシートでさっと振り返ることができます。先生がアドバイスを書いてくださるのも、ものすごく役に立ちました。

新堂：私は数学の受験勉強を始めたのが遅くて、演習量も他の人に比べて少なかったと思います。それでも追いつけて、数学に対する苦手意識がなくなりました。「テーマタグ」の手法は、他では教えてもらえない考え方で、「すごく良いな」と思いました。

先生の手書きプリントもとても役立ちました。私は本筋と関係ないところでよくミスしてつまづいてしまいます。でも、先生の手書きプリントはとても細かくて、過程も全部書かれています。過去の卒業生のミスもまとめてアップデートしてくれているらしいです。それがとてもありがたかったです。セルフチェックシートについては、前期は「嫌でもやらなきゃ」という気持ちで書いていました。後期は、前期にやったのに忘れていたアプローチや、自分がやりやすいミスなどをメモして、それを毎回見直すようにして活用していました。

グノーブルの先生

山田：どの先生も最初の授業から生徒の名前を覚えてくださいま



す。初めての授業で先生がこちらを見て「山田君」と呼びかけてくださった時、僕はすごくびっくりしました。

先生が名前前で呼んでくださると、「授業に参加している」という気持ちが強くなります。

田坂：先生は熱意もすごいと思います。授業の添削や解説の時もですが、メールでの相談にもすぐに返信して下さいます。

新堂：授業中に生徒のことをよく見てくださっているのが分かります。先生がずっと黒板に向かっていて眠くなりますが、グノではそういうことが全然ないので、ちゃんと集中して授業に臨むことができました。

篠原：距離感が近いのが良かったと思います。他の塾では、授業が終わると先生がすぐに出ていくので、質問などのやりとりがあまりできませんでした。グノでは質問もしやすくて、それが良いところでした。

伊藤：グノの先生は、生徒一人ひとりの成績が上がるように本気で授業をしてくれます。生徒一人ひとりに焦点を当ててくれるのが良かったし、助かりました。

林：「いろいろな先生がいる」と



* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

* セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



という印象を持っていました。自分にめちゃくちゃ合う先生を見つければどの塾よりも良い授業を受けられると思います。

後輩へのアドバイス

林：高い目標に至るためだからこそ、焦らずに基礎から積み上げていくことが大切だと思います。

新堂：早寝早起きはちゃんとやったほうが良いです。体調の管理も受験には大切です。

山田：グノの英語と東大の英語はちゃんと対応しています。グノの英語を間違いなくやってあげば、ちゃんと受かるので安心してください。

田坂：東大を受けるなら、共テの演習をあまり前からやらないほうが良いと思います。共テに全振りせず、東大対策になるグノの英語をやっておきましょう。

伊藤：周りには、過去問演習や宿題に追われている人が多かったで

す。そうならないように、自分でもちゃんと考えて計画を立て、実行していくことが大切だと思います。

グノの先生に聞けば、アドバイスやコツなども教えてもらえます。グノの先生をどんどん活用してください。

篠原：グノの指導は、本当に生徒の実力を上げるように考え抜かれていると思います。グノを信じて頑張してほしいです。



中学受験グノーブル 濱田先生から林くんへ

授業で習ったことを少しでも吸収しようとしていた様子は今でも印象に残っています。

社会については、知識に不安があって苦勞されていた部分もあったようですが、こつこつと努力を積み重ねることで克服していったのは、他の人にとっても大いに励みになることでした。

努力を継続するということは、一見すると簡単そうにも思えますが、実際にやり切るのとは簡単ではありません。中学生になってからも努力の継続ができていたようで、たのしく感じています。

林くんのこれからのご活躍を期待しております。

受験報告日に いただいた メッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。

慶応義塾 大学 経済学部 進学
出身高校 **武蔵大学附属高校**
メッセージ
フレンドリーな先生による楽しい授業が最高でした!!
6年間お世話になりました!!

東京 大学 理科Ⅱ類 進学
出身高校 **桜蔭高校**
メッセージ
Gnobleは英語も数学も最高です!!
本当にありがとうございました♡

京都 大学 経済学部 進学
出身高校 **都立 日比谷**
メッセージ
控えめに言っても...
グノは神!

早稲田 大学 法学部 進学
出身高校 **雙葉高等学校**
メッセージ
グノーブルの授業が毎回楽しかったです!
グノーブルを信じれば絶対大丈夫!!

東京 大学 医学部医学科 進学
出身高校 **白百合学園**
メッセージ
理系科目も手でも理系として頑張っています。
グノの先生を信じて進み続けて下さい!
お世話になりました!!

東京 大学 理科Ⅱ類 進学
出身高校 **麻布学園**
メッセージ
Gnobleで音読したりはなんとかなります!!

早稲田 大学 先進理工学部 進学
出身高校 **早稲田大学村岡高校**
メッセージ
Gnoの英語は裏切りない!!
最前列に座ると尚良し!!
最前列

東京 大学 理科Ⅰ類 進学
出身高校 **早稲田高校**
メッセージ
Gnoble 最高!

京都 大学 文学部 進学
出身高校 **白百合学園高等学校**
メッセージ
Gnoble LOVE

東京 大学 理科Ⅰ類 進学
出身高校 **早稲田高校**
メッセージ
英語で受けたから、
グノに助けられました
ありがとう!

早稲田 大学 理工学部 進学
出身高校 **馬場東邦**
メッセージ
Gnobleの英語・数学は
しゃがみれば力になります
ファイ!!!

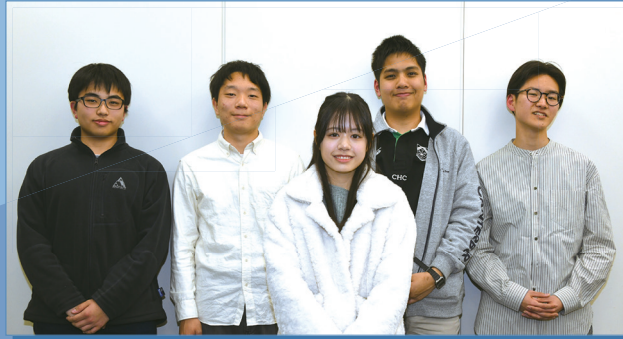
東京 大学 理科Ⅰ類 進学
出身高校 **早稲田高校**
メッセージ
Gnoble 信じて
頑張っ
て下さい!!

受験報告日に いただいた メッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。

18期生合格者 インタビュー

Part6



こう だ だい き
國府田 大喜さん
東大理Ⅰ・駒場東邦



と ち ぎ は や と
都知木 勇人さん
京大工
駒場東邦



まさひろ ゆう き
正廣 祐貴さん
慶應大 法
世田谷学園



もりはた ま り
森畑 真理さん
学習院大 法
品川翔英



ゆき た じゅんいちろう
行田 潤一郎さん
一橋大 商・海城

座談会出席者 五十音順・本文中敬称略

グノーブル入塾のきっかけ

正廣：グノの英語と私大国語に通っていましたが、英語は中学3年の冬期講習から、EGGS*という、基礎的な文法から学ぶコースに入りました。「単語帳を使わない」というフレーズにすごく魅力を感じたのがきっかけです。「この塾が良いんじゃない?」と親とも相談して入りました。

都知木：僕はもともと別の塾に行っていましたが、高1の時についていけなくなりました。家が横浜のほうで「新宿まで行くのはちょっと遠い」と思っていたのも

あって、塾を変えることにしました。

横浜で塾を探し始めたちょうど1か月前にグノーブル横浜校が開校していました。グノの評判を周りから聞いていたこともあって、「これは神がそう言っているんだな」と思ってグノに入りました。

國府田：僕は高2の11月からです。比較的遅い時期ですが、それまで塾に入っていませんでした。部活が文化祭で引退なので、引退後から「受験勉強を始めよう」と思い、塾に入ることにしました。駒東はグノ生が多く、「グノは学校と両立しやすいよ」という噂をよく聞いていました。

うちの学校は他塾に行っている人も多いですが、その人たちは塾の課題に必死で、塾に振り回されているイメージがありました。僕はそうではなく、学校の勉強にも力を入れたかったので、「ちゃんと両立できる塾を選ぼう」と思っていました。だから、周りの意見を参考にしてグノに決めました。

森畑：私はもともと別の個別塾に通っていて、担当してくれた大学

生がグノの卒業生でした。その方が「グノのおかげで大学に入ったから、その大学のレベルを目指すならグノが良いよ」とおすすめしてくれました。それで高2の夏期講習を受けて、グノに決めました。

行田：僕は中1の冬に数学を受講し始めて、中3の頭に英語、そして、高1から国語をとりました。「グノは先生と生徒の距離が一番近い」という評判を聞いていたので、「自分に合っているのかな?」と思ってグノにしました。

グノーブルに通ってみて

行田：カリキュラムが自分の学校よりも少し速い程度で、ちょうど学校の勉強の予習ができました。そこがすごく良かったです。

森畑：私の学校には、グノに通っている人があまりいなくて、他の大手塾に通う人が多かったのですが、私は周りから珍しがられました。グノは、他塾に通う周りの人よりは速い進度で進んでいました。

國府田：グノは少人数授業で、先生が初日の授業から生徒全員の名

前と顔を覚えてくださいます。僕のこと名前でも呼んでくださったのがすごく印象的でした。クラスの中に駒東生がいて、すぐになじみやすい雰囲気でした。

都知木：僕が横浜校に入った時は開校直後で、まだ生徒が少なくて、周りともすぐに親しくなれて、すごくやりやすかったです。グノの良いところのひとつは、学校生活の負担にならないことです。学校の定期考査の時も余裕を持ってどちらの勉強もできました。

正廣：グノは少人数授業で、名前と顔をすぐに覚えてもらえるので、先生に対してすごく親しみを持てます。質問などをどんどんしていける良い環境だったと思います。

授業で使われる教材があまり受験受験していないのも良かったところです。知的な読み物を英語で読んでいるという感覚で、「大学受験だ」というプレッシャーを感じませんでした。

グノーブルの話題

正廣：世田谷学園では、グノに通っていた先輩*1が東大の理Ⅲに合格したこともあって、グノの生徒が多かったです。

特に高3になってからは、サミングアップ*2や英作文の添削課題に関して「今回は難しい」と話し合ったり、点数をお互いに言い合ってゲーム感覚で楽しんだりしていました。教材のレベルが高く、内容は日本語で読んでも興味深いものだったので、例えば「今週の教材も面白かったよ」といった話を家族にもしていました。

都知木：正廣君と同じように、僕も家で、授業で得たうんちくを親に自慢していました。そうしたら、英語に興味がある父親に「ちょっと読ませてくれよ」と言われたこともあります。

学校にはグノの友達が多いので、サミングアップの答案を見せ合ったり、分からない宿題を教えてもらったりもしていました。

國府田：学校では都知木君が言っていたとおりです。



と ち ぎ は や と
都知木 勇人さん
京大工
駒場東邦

家では、グノに通うとなった時に、親がグノを知りませんでした。「大手塾のほうが良いのではないかな?」とちょっと反対もされましたが、結局は僕の選択に委ねてくれました。

グノに入ってから、成績も伸びたので、「学校と両立もしやすく良かったね」と言ってくれました。

森畑：学校では、グノを知っている人があまりいませんでした。先生からも「出来が良い生徒」と思われていました。そんな感じのポジションでいられたのは、グノに

* English Grammar Green Session for newcomers:季節講習(中3冬期~新高3冬期)で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。

* 1 14期卒業生の渡邊侑貴さん。インタビューはGno-let vol.25でお読みいただけます。

* 2 SUMMING-UP LABORATORY:高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答案は担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「読解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。



まさひろ ゆう き
正廣 祐貴さん
慶應大 法
世田谷学園

通っていたおかげです。

両親も「グノに通ってすごく伸びたね」と言ってくれました。

行田：僕の学校はグノ生が多かったので、毎回の英作文やサミングアップの点数で競っていました。あとは、グノで定期的にやるクラス分けテストでも、点数を見せ合って「次は絶対に勝つよ」という感じでした。

家族からは、自分の勉強の内容に関してあまり言われませんでした。妹がグノに通っているの、妹の勉強をたまに見てあげることはありました。

グノーブルの英語

行田：もともと英語はかなりできたほうだと思います。幼い頃ニューヨークに住んでいたからです。でも細かなところまで読めていたわけではなくて、知らない単語を飛ばし読みしても大体は理解できている、という粗い読み方でした。

グノに通ったことで、難度の高い語彙もどんどん取り込めるようになったし、細かなニュアンスや深い意味が見えるようになって、英

文を読む精度が高まりました。ちゃんとした読み方が新しくできるようになって本当に良かったと思います。

文法力もグノで身につけました。相手にちゃんと伝えるのに、正しい文法などがすごく大事になってきます。これからグノで学んだことが生きてくると思います。

森畑：英語はもともと得意でした。サマーキャンプでアメリカのサンタクルーズに行って現地の方と交流したこともあるので、英語に抵抗はありませんでした。でも、細かなところまで意識して読めるようになったのは、私もグノに通い始めてからです。それまでは、英語を何となく流し読みして、「こういう感じね」と内容を推測していました。

私は Instagram や X など海外の方とも交流していました。グノで身につけた英語がメッセージやチャットをする上ですごく役に立ちました。

國府田：僕は英語は最初から得意でした。父親の海外赴任で小さい頃によく海外に行っていたので、英検などを早い段階でコツコツ取得していました。そのアドバンテージが生きて、入塾の時まではリードを保っていました。それでも、グノに入ってから大きく伸びた実感があります。それまでの勉強は、単語や文法を丸暗記して表面的な理解でとどまっていたのです。

でも、グノは、表面的な知識にとどまらない、深度の深い授業をしてくれたので、英語の仕組みの深いところまで理解を掘り下げることができました。

先生が、英単語の語源を、ギリ

シャ語やラテン語から説明してくださったり、フランス語との関連を話してくださるので、それが自分の中では興味深くて、グノの授業を受けているうちに自然に英語の力が伸びた実感があります。受験にとどまらない知識を教えてください、それは大学に通じるものだと思います。

都知木：僕は英語がすごく苦手でした。中1で英語ゼロの状態から始めて、しかも、学校でも英語の成績は低迷していました。グノでも、高3の春までずっと状態は悪いままでしたが、高2の秋に部活を引退して時間ができて、そこから音読や復習をちゃんとやり始めました。長期休みには前のタームで使った文章を全部見直しました。そのおかげで、春のクラス分けテストでαに上がって、そこからの伸びは大きかったと思います。

グノで学んだ英語は、京都大学の入試でもすごく役立ちましたし、これから大学で論文などを読む時もすごく重宝すると思います。

正廣：僕も中1で初めて英語に触れて、アルファベットからやりました。中3の冬にグノに入った時



もりはた ま り
森畑 真理さん
学習院大 法
品川翔英

には、長文はまるで読めない状態でした。

でも、合格者の声に「とにかく音読をしろ」「グノの先生を信じろ」と書いてあったので、それを信じて勉強しました。気づいたら伸びていて、学校のクラスの中でも英語ができるようになっていました。EGGS からのスタートでしたが、高3の最初にαに上がることができました。

グノーブルの音読

正廣：グノの教材と音読のおかげで鍛えられたので、生きた英語を楽しめるようになりました。

高3の秋頃から受験対策と息抜きも兼ねて英字新聞をインターネットで読むようになりました。同じく秋頃からオンライン英会話を始めた時も、音読とシャドーイングの効果もあって、スムーズに始められました。

言葉は耳から入れると上達が早いと思います。自分の体も使って英語を声に出して、それを耳に入れていくと、つまり、真剣に音読をしていると、文章のフレーズが頭に残りやすいと思います。言葉はフレーズをつなぎ合わせたり組み替えたりするものなので、音読のおかげでそれがスムーズにできるようになっていきます。

僕は、授業が終わってから時々残って、先生と話をしていました。音読やシャドーイングのやり方についても、よく相談していました。

都知木：僕も、最低でも1日30分は音読していました。文章にはある程度の型があります。音読することで文章の型が頭に刻み込まれて、その型を頭が自動的に選ん

で読んでいるようになったのかなと分析しています。

國府田：音読せずに黙読だと、どうしても読み流してしまいます。日本語の文章でも、新聞などをチラ見ただけだと全然内容が分からないことがあります。ましてや英語だと流し読みするだけで覚えられないわけがありません。

音読だと1音1音をちゃんと声に出して読むので、最後まで記憶に残りやすくなります。そこが音読によって記憶の定着が進む要因だと思います。

森畑：毎日30～40分は音読していました。音読で声に出さないと返り読みをしたり、日本語にいちいち訳して読んだりしてしまいます。音を聞きながら目で追いながらすべての感覚を使って英語に触れられるのが、音読の一番のメリットだと思っています。

行田：僕は、英語だけでなく他の科目も、ブツブツ独り言のように言いながらやっていると、気づいたら定着している感じを実感していました。やはり口に出すことは大事だと思います。

グノーブルの英語の勉強法

行田：サミングアップが良かったです。「自分はどんな文章でもある程度読める」と思っていたのですが、それは本当に「ある程度」でした。

いざ自分でまとめるとなると、実は内容が頭に入っていなかったことに気づけます。それを毎週添削してもらえたのはすごくためになったと思っています。

森畑：サミングアップは自分にとって効果が大きかったです。



ゆき た じゅんいちろう
行田 潤 一郎さん
一橋大 商・海城

英文の要約には、段落ごとに筆者の言いたいことを捉えて、その上で全体の構成をしっかりと捉えていく作業が必要です。英文の隅々に目を凝らして、筆者の主張と、それを説明している部分を見分けていく訓練がサミングアップでできたと思います。

サミングアップ以外の長文を読む時にも、要約で培ったまとめる力と隅々まで読む力が合わさって的確に読めるようになりました。

國府田：単語の語源的理解がとても良かったです。単語は英語を読むにあたって最も根幹になる部分で、これがないと読めません。グノの単語の語源的理解のおかげで、すでに覚えている単語についても、その英語らしいイメージをつかんで記憶を定着させることができました。

初見の単語に対して類推する能力も養われるので、長文を読むにあたって、単語で詰まるということが非常に減りました。

都知木：僕の場合も根幹から捉えていく習慣がついたことで英文がしっかり読めるようになりました。英単語を日本語に置き換えながら理解していくと、どうしても表面的な解釈に終わってしまうと



思います。
英語だけでなく数学も物理も、グノでちゃんと本質から理解していたので、応用力のある入試問題にも対処ができたと思います。物理は参考書を開いても式しか載っていません。グノでは「どうしてこの式になったか？」を最初から説明してくれたので、応用力のある問題にもかなり太刀打ちできるようになりました。
英単語や英文法も同じで、参考書では「どうしてそうなっているのか」が載っていません。グノの授業ではそこを説明してもらえるので、いつも先生の話に集中できました。

正廣：英文教材の知的レベルが高く、そこが気に入っていました。海外の新聞や学術論文からの引用があったり、オックスフォード大学の教養学部教科書が教材になっていたこともあり。そういう教材を解説してくださる先生の話も素晴らしくて、英文の内容にも引き込まれましたし、もちろん英語の本質的な理解にもつながりました。プラスして大学に進学したあとの知的な活動における基礎的な教養も身につきました。

グノーブルの数学

行田：グノでは、中学生の頃から段階を踏んで難しい問題も解いてきました。学年が上がって、高1では大学受験の問題も扱われるようになっていましたが、難度の高い問題にとまどう感じはなくなっていました。

セルフチェックシート*には、自分の問題に対する解法などを書いていましたが、そのシートに、先生が僕の解法の穴などのコメントを残してくださったので、自分をしっかり見つめていくことができました。
國府田：自分は数学が最初そんなに得意ではなくて、序盤の東大模試でも低い点を取っていました。しかし、グノの数学を受けていると、分野別にテーマに関連づけて解法を選べるようになります。テーマごとにタグ付けをしていくので授業では「テーマタグ」と先生が名付けていましたが、その「テーマタグ」が知識を体系的に整理するのに役立ちました。おかげで、方針から詰まることがなくなって、解けないにしても部分点をもらえるようになりました。方針を選択できることによって完答率も上がります。
テーマタグが本当に良かったです。周りが「その解法を思いつくのは天才かよ？」と言うような解答でも、「テーマタグと関連させれば余裕だね」みたいなことが結構ありました。一見すると飛躍があるような段階でも、テーマタグに関連させるこ

とによってその差を埋めることができます。

難問を解くにあたって、かけ橋になるのがテーマタグの役割だと思います。完答できるかどうかは計算技術がまた要りますが、出発点となる方針を大きく間違えなくなります。

セルフチェックシートには、僕は主に解答のアウトラインを書いていきました。テーマタグについて意識して「自分の方針をどうやって立てているのか？」などを書き、シートを見直す時には、「方針を立てる段階でどんなミスをしたのか?」、合っていた問題について「どうしてこの解法を選択できたのか?」を思い返していました。

都知木：一番覚えているのが、高3の後期から始まるテスト演習です。僕は「数学がかなり得意だ」と思っていたのですが、テスト演習がすごく難しかったです。僕もテーマタグのファイルをつくって、分からない問題があればそのファイルを見直していました。

数学が得意な僕は、問題を解きっぱなしにしてしまいがちでした。でも、解けた問題もセルフチェックシートにちゃんと書くことで、



*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



先生に「ここはこっちのルートに行ったほうがもっと早く解けるよ。計算ミスが少なくなるよ」と教えていただきました。だから、解けた問題からも学びを得ることができました。

グノーブルの国語

正廣：難関大学だと文章が抽象的で、解いている時に全部把握し切れないことがあります。抽象度の高い文章でも、グノの解説では、雑談のような感覚、本当におしゃべりのような感覚で解説されていました。授業を受けて教室のドアを出る頃にはもう完全に分かっている状態になっていました。

現代の僕ら高校生にも身近な具体例を使って解説されるので、興味関心のないテーマでも、眠くなるどころか、いつも話に引き込まれました。本当に分かりやすい授業でした。

森畑：私も同じです。すごく面白かったです。
古文でも難しいものは難しいですが、苦手意識をなくさせる授業の工夫がされていました。「紫式部はこういう人」とリアルに生きていた人だと感じられる解説だったので、古文を身近に感じられるようになりました。

「古文は硬くて分かりづらい」と思っていたのですが、グノで分かりやすく解説してもらえて、いつも「楽しい」と感じていました。

行田：僕は高校1年の時に古文を、高3で小論文を取りました。グノの古文で本当の基礎の基礎から始められて、学年が終わる頃には、ある程度の古文であれば大体理解できるところまで成長できま

した。
高3の小論文では、先生の添削がすごく丁寧で、自分の書いた小論文の隅々まで見てもらえました。自分では気づけなかったことをたくさん指摘してもらえたので良かったです。
入試本番でも、グノで学んだことを使いまくりました。

グノーブルの物理

都知木：グノの物理は「偉人がどうやって考え出したか?」を解説しながら授業が進んでいくので、いつも興味深く話が聞けましたし、本当に根本から理解できたと思います。

光の粒子説と波動説の解説は特に印象に残っていて、1歩踏み込んだ話が聞けるのがグノの授業の醍醐味です。さらに、その光の話が、あとになって原子の授業に関わってくることが分かった時には、ちょっと感動すらしました。物理の授業ではかつての科学者の思考過程にまで及んでいましたが、無駄なことはありませんでした。もともと進みたかった学部も物理系だったのですが、グノの授業でさらにその志向が強化されました。

グノーブルの先生

正廣：グノの先生はすごく親しみやすかったです。授業の内容や学習方法などを繰り返し何度も相談させていただきましたが、いつでも、僕が納得するまで相談に応じてくださいました。本当に温かったです。
僕は慶應大学に進学しますが、そ

こも実はグノの先生にご相談した結果です。もともと別の大学を第1志望にしていたのですが、国語の先生にご相談したところ、「あなたには慶應のほうが良いのでは」と強く勧められました。自分でも足を運んでみた結果、慶應を選びました。本当に幅広く相談させていただきました。

都知木：グノの先生は、本当に一人ひとりの成長を応援してくださいます。
直前期には横浜校に何度も過去問の添削依頼に行きました。かなり量が多いものでもいつも快く対応してくださいました。
先生たちとちょっとした雑談をすることも受験のストレスの発散になりましたし、先生のお話に刺激をいただけることもあって助かりました。

國府田：初対面から名前と顔を覚えてくださって、とても親しみやすかったこともグノの先生の特別な点だと思います。
それから、授業の随所で、先生方がその科目に対して非常に造詣が深いのが見て取れました。専門性の高さや教養の深さが見えて、知的好奇心をそそられる授業をしていただきました。その科目が受験科目として得意になるだけでなく、好きになりました。自ら意欲を持って学習するという面でも非



常に助けになりました。

森畑：私は常に疑問を持ってしまいうタイプですが、グノの先生には質問しにいきやすかったですし、その疑問点をその場ですぐ解決してくださいました。

週に3回くらい、メールでたくさん質問を送ったこともありましたが、先生は優しく対応してくれました。1件1件のメールに対して細かいところまで教えてもらえました。

行田：中1の時に入塾してから、英数国といろいろなグノの先生の授業を受けてきましたが、どの先生にもすぐに名前を覚えてもらったり、どんなことでも相談に乗ってもらったりして、先生と生徒の距離が近くてすごく良かったと思います。

後輩へのアドバイス

行田：僕は推薦で大学を決めました。だから、学校生活を大切にしていたことはとても良かったと思っています。そもそも、学校生活を通していろいろな体験をしていくことはすごく大事だと思っています。

グノは学校生活と両立できる塾です。グノの授業を受けて復習していけば、自然と成績も伸びていくので、先生の言うことをしっかり

聞いて頑張るのが一番良いと思います。周りがどうかは考えずに、グノのカリキュラムに乗っていけば結果は出ます。

森畑：先生方が、勉強以外にも志望校の決定などで相談に乗ってくださいます。質問に答えていただけける時も、アドバイスをピンポイントでくださることもあります。いつも一人ひとりを大切に考えていてくださると思っていました。グノのそんな環境を活かしてほしいと思います。

國府田：自分は5月末ぐらいに英語のクラスが落ちたことがあります。クラスが変わる直前の授業で扱われた英文のテーマが「レジリエンス」でした。

「レジリエンス」は「へこたれなさ」という意味で、まさに受験勉強で問われるものだと思います。その教材は、クラスが変わってしまう生徒たちへの先生からのメッセージでした。これを機に「1回の模試の結果で一喜一憂せず、受験まで諦めないで走り続けよう」と思えたことが印象的で、心に残っています。

へこたれずに頑張りたいと思います。どうしても目の前の結果にとらわれがちですが、でも、模試の結果が悪くても、最終的に受かってしまえば良いわけです。めげずに、自分のしてきた努力を信じて、入試を走り抜けてほしいと思います。

正廣：今振り返ってみても、本当にグノに通って良かったと思います。大学受験だけでなく、その先も見据えたご指導をしていただきました。本当の英語力や本当の教養を教えていただけたとても良い塾でした。

グノの先生の言うことを信じましょう。グノの方針は間違いありません。授業中は集中して、復習では音読をしっかりやっていけば、成績は着実に上がります。

都知木：横浜校は、まだ歴史は浅いのですが、結びつきがすごく強かったです。先生たちはもちろん、受付の人たちにも名前を覚えてもらっていました。横浜校はアットホームで、安心感もあって、勉強に集中できました。後輩たちにも、絶対にグノを信頼して頑張ってもらいたいと思います。

僕は英語で下のクラスにいた期間が長いので、そういう人向けに言いたいことがあります。グノの英語に通っていれば、下のクラスにいても「自分は実力がない」と思わなくて大丈夫です。「自分は着々と実力がついていく」と思ってください。グノの先生の話聞いてやっていたら、絶対に実力がつき、成績も上がります。



受験報告日 に いただいた メッセージ

受験報告日(2024年3月)の記録から
編集者が任意に選んだものです。

東京外国語 大学 言語文化学部進学
鎌倉女学院高等学校
メッセージ
グノのおかげで
英語も勉強も好きに
なりました! グノでよかった!!

京都 大学 工学部物理工学科進学
駒場東邦
メッセージ
二ヶ月間で、12年分過去問
持ってきた。小平先生
ごめんなさい!!

東京 大学 理科学部進学
駒場東邦
メッセージ
グノの授業は楽しく、
勉強が好きになりました!
Gnoble 最高!

東京 大学 法学部進学
品川翔英高校
メッセージ
毎週読む英文の内容がおもしろいから楽しんで学習できる!!!
Gnoのおかげで英語の成績が
上がりました。現代文も成績が
上がった! ありがとうございました

東京 大学 文科学部進学
海城高校
メッセージ
Gnoを信じて突き進め
英国教全部最強の塾

東京 大学 法学部進学
世田谷学園高校
メッセージ
“受験勉強”に比べ、学べる塾

東京 大学 文科学部進学
女子学院 進学
メッセージ
グノを信じてやってきて
良かったです!
大好きな塾で!!

一橋 大学 商学部進学
海城
メッセージ
グノのおかげで合格できました。
ありがとうございました。

18期生合格者 インタビュー

Part 7



あんどう ゆう き
安藤 祐輝さん
筑波大 医・武蔵



すずき せい た
鈴木 惺太さん
順天堂大 医・海城

座談会出席者 五十音順・本文中敬称略

医学部志望の動機

安藤：僕が医学部を目指した理由は、生まれた時に遡ります。僕は早産で、重度のアレルギーを持っていた。だから、生まれた瞬間からずっと「お医者様に救われたよ」と親に言われ続けてきました。

そんな中で進路を決める際、人の命を救うこと、僕にとっては「みんなをどれだけ健康に、そして、幸せにできるか？」ということだけに専念して勉強ができる医学が、他の学問よりも輝いて見えました。人生を懸けて勉強するのなら、人を幸せにする医学しかないと思って医学部を目指しました。高校在学中は、睡眠研究の第一人



あんどう ゆう き
安藤 祐輝さん
筑波大 医・武蔵

者の柳沢正史先生の講演会に行きました。柳沢先生は武蔵のご出身で先輩です。その柳沢先生が筑波大学にいらっしゃるので、同じ大学を目指し受験しました。

もちろん、一人ひとりを治す臨床は尊い仕事だと思いますし、興味もあります。でも、研究寄りになります。医学を使ってもっと生活を豊かにしたり、根源から変えたりする方面に携われたらいいなと思います。一般的な臨床とは違った角度から医学を捉えてみたいのです。

鈴木：僕も早い段階から医学に興味がありました。というのも、父親が整形外科医で、母親ももともと看護師だったので、医療が身近に存在する環境で育って、自然と医療に興味が湧いたからです。

理系に行くのは決まっていたのですが、最終決断したのは高校2年の秋です。学校の行事で、理工系の学部や医学部に進学した先輩の方々からお話を直接聞かせていただきました。

その時に、理工系の方からロボットやAIなどの研究のお話をうかがいましたが、僕の興味は向きませんでした。

一方、医学部のお話をお聞きして、

大変だけれども、自分が学びを深めていくことによって、将来的に患者さんの命を救える学問に魅力を感じました。医者になったあと、自分に対する誇りを持てる、やりがいのある職業だと思ったので、医学部を志望することにしました。

希望としてはやはり臨床のほうです。小さい頃から、野球やテニスなどのいろいろなスポーツをやってきた中で、大きな怪我はしていませんが、骨折などはしてきました。その時に整形外科医の父親に直接治療してもらった経験が多くて、父親の姿に「カッコいい」と憧れていました。だから、スポーツ医学を志したいと思います。

グノーブル入塾のきっかけ

鈴木：入った時期は、英語が高1の春からで、物理が高2の春からです。3歳年上の兄が英語と物理でグノーに通っていて、グノーの良さをいろいろ聞いていたのが入塾のきっかけです。

ちなみに、兄が入った理由は、父親の同僚の息子さんがグノーに通われていて、「授業料は安いけれど、授業の内容が濃いので、コスバが

良い」というお話を直接聞いていたそうです。それで、兄が入って、僕も入って、妹も入っています。僕は高3の5月までテニス部に所属していて忙しくしていました。グノーは宿題が多なくて、振り替えがしやすいので、そこがまず良かったです。他の塾に通っている人からは「テストや毎週の演習で、先生から厳しいコメントを書かれる」という話も聞いていました。兄からもそういう話を聞いたことがありません。グノーには「受験らしいストレスを抱えないで、楽しく勉強できる塾」という印象を持っています。

安藤：僕がグノーの英語に通い始めたのは高2の冬からです。別の塾からの乗り換えです。

もともといた塾では一人ひとり見てもらえているという実感がありませんでした。答案も採点だけされて返されます。だから、僕には「先生にちゃんと見てもらえているのかな？」という不安がありました。

そんな時、同じ塾に通っていた友達がグノーに移りました。その友達「グノーブルは先生が生徒一人ひとりを見てくれるし、しかも、ものすごく密度が濃い上に面倒見

が良く、授業も面白い」と話していました。

それを聞いて僕は高2の冬に冬期講習を受けました。「同じ英語という科目の授業でも、教え方や接し方、英語に対するアプローチが全く違う」と感動してグノーに入ることになりました。

グノーの英文に対するアプローチは、日本語に逐語訳していく従来のスタイルではありません。英語の語順のまま流れるように読むネイティブっぽいグノーのアプローチが僕にはぴったり合っていると思っていました。

グノーブルに通ってみて

安藤：初回の授業から驚いたのが、僕の名前を先生がすぐに覚えてくださったことです。「こんなにしっかり見てくれるんだ」と嬉しくなりました。

しかも、他塾の教材と違って、グノーの教材は生き生きしていました。時事ネタも入っていて、教材の向こうに「今の世界」が見えることに感動しました。

先生の解説も、受験に役立つことだけでなく、その先も見据えた上で英文の背景、英語の文化的な側

面、英語という言葉の成り立ちなどもどんどん教えてくださいます。

もちろん、模試でも以前より明らかに読むスピードが上がった上に、英語脳をつくるというか、ネイティブのような頭の動かし方で問題を解くことができるようになりました。

本当に「グノーに入って良かった」と思いました。

他塾の人たちが塾の教材を学校の授業中に持ち込んでまでやるのに対して、僕は「違うんじゃないかな？」と強く思っていました。

僕の学校は教育に熱心です。先生方は、大学受験に特化するのではなく、「いかに本物の学問に触れていくか?」「専門的な課程に進む上で何を備えておくべきか?」に重点を置いて指導をしてくださいます。

大学受験の勉強と比べて、学校の勉強は同じ勉強でも違う種類です。僕は「学校の授業は大切で、授業中に塾の教材をやっておろそかにするのは違う」と思っていました。

グノーは学校生活も応援してくださる塾で、僕にとってはありがたかったです。

鈴木：グノの先生は一人ひとり大切にしてください。受験報告に来た日にも、高1、高2の時に教わっていた先生方にご挨拶できましたが、ちゃんと僕のことを覚えていてくださいました。受験期には、毎日、グノの自習室で勉強していましたが、よく物理の先生のところに行って質問していました。そういう時もいつも先生は親身に接してくださいました。直前期の英語の過去問添削ではメールで迅速に対応していただきました。その日のうちにPDFで返信が返ってきましたし、添削もめちゃくちゃ丁寧でした。一人ひとりの生徒を見てくださっているアットホームな環境で学べたのは、すごく楽しかったし、心に残る温かい経験でした。

グノーブルの話題

鈴木：僕は、グノに通っていた兄と同じ先生方に教わっていました。だから、家では、兄とよくグノの先生のことを話題にしています。グノで学んだ英語は本質的な英語なので、受験だけにとどまりません。僕は、海外に留学することも視野に入れているので、モチベーション的にも英語能力的にもグノで学べたことは本当に良かったと思っています。両親も「やっぱりグノーブルに入れて良かった」と言ってくれています。**安藤：**僕は友達に誘われてグノーブルに入ったので、その友達とはよく「グノで力がついたね」と話していました。そうしたら、他塾で英語を受けていた武蔵の友達が

二人、グノに移ってくれました。その二人も僕たちと同じような感想を持ってくれたので、やっぱりグノは他塾とは違うんだと思います。家庭では、僕の親は僕に自由にやらせてくれていました。塾を決める際も「自分に合った塾に通えばいいよ。その塾が良い理由が説明できれば、授業料は出すから」という方針でした。ですから、冬期講習でのグノの授業の印象を話したのが、親にグノについて語った最初でした。すぐに親も納得してくれました。入塾後は、授業で扱った教材や先生の解説のことを時々話していました。英文教材になった時事ネタのことを話したら、母親も「私もそのニュースをBBCで見たよ」となったこともありました。グノの英語を通して親とも会話がはずんで、英語がますます好きになりました。

グノーブルの英語

安藤：中学の頃、僕はうまい感じに英語のスタートを切れていました。中学に入学した段階で、親から「英検の勉強を早めに始めたほうが良い。資格としても使えるし、英語力自体も役立つから」と言われて英語の勉強を始めました。高1から高2にかけても成績が伸びていたこともあって、もともと英語は得意だという意識がありました。一方で、「このままではこれ以上は伸びない」という停滞感もありました。グノに移ったのはその頃です。

グノでは土台になる文法をしっかり整え直すことができました。さらに、読解の授業で扱われる英文が、ありきたりな大学受験の過去問とは異なったことが大きかったです。中には、人生を考えさせてくれる哲学的なものまでありました。先生の解説も、英文を解釈するための背景にまで及んでいたことで理解が深まりました。そのことが人として僕を豊かにしてくれたと思います。これは医学部で医学を中心に学ぶ上でも役立つはずです。もうひとつ、グノで学べた大切なことがあります。僕たちは日本語話者なので、物事を考える時に日本語的な論理構造で考えています。英文を読む時には頭の中のスイッチを英語モードに変えなくては、本当の意味で英文を解釈することはできません。日本語に置き換えていたのでは、翻訳機に頼るのと変わりません。グノでは、英文を英語で考える訓練ができました。英語話者的な考え方に切り替えられるスイッチが僕の中に備わったと思います。グノで英語を学べたおかげで、受験期になるまでずっと英語が一番の得意科目で、英語を主軸に受験校の戦略を考えられました。**鈴木：**僕も中学1年生の頃から、新しい言語を学ぶのは、自分の世界が広がっていく感じがして最初から好きでした。英語の勉強は中1から中3まで学校が中心でした。海外のコンテンツもよく見ていて、分からない単語を自分で調べるなど、主体的にやっていました。英語が好きで得意でしたが、その時はまだグノで学んでいないの

で、英語をわざわざ日本語に変換して理解していました。英語を日本語に変換する作業をしていると、直接的なニュアンスなどは伝わってきません。その作業を当たり前に行っていたのが中学3年までです。グノに通うようになってから、理解した文章を音読したり、GSL*などのリスニング教材を耳で聞いてシャドーイングしたりして、英語を英語のまま理解できる英語脳が身につきました。これが、グノで英語を学んだことの大きなメリットのひとつでした。グノでは先生の説明は、語彙や文法的なことにとどまりません。英文の背景や筆者の感じ方まで、先生が楽しそうに生き生きと解説してくださいます。先生はよく、「筆者の頭の中に入ってみると」とおっしゃって、僕たちが気づきにくい指摘もしてくれました。音読は、解説で内容をよく理解した文章が素材です。英語のまま誰かに内容を伝えるつもりで口に出すというアウトプットを繰り返します。英語を英語のまま内容理解ができる力が自然とつき、それが初見の文章にも応用できるようになっていきました。気づいたら「あれ？ 日本語に変換しなくても読み進められている」となっていました。グノの勉強法では、語源から英単語を学ぶところも画期的だと思います。学校では、そういうことについて教えてくれる先生は一人もいませ

んでした。語源から学ぶことによって、初見の単語でも、綺麗な訳は出せなくても、「大体こういうイメージの単語だな」とパッと思いつくようになります。僕は海外留学を視野に入れています。例えば、アメリカは医療技術が一番進んでいる国ですが、制度的には、日本にある国民皆保険制度がありません。国ごとの医療の違いを自分の目で学んでいくことは、今後医師としてのキャリアを積んでいく上でも重要な経験になると思います。そういう視野を広げるためにも、グノで学ばせてもらった経験が間違いなく活かせるはずです。**安藤：**受験が終わった今になって振り返ってみると、グノーブルの授業でやっていたことのひとつ一つにすごく意味がありました。例えば、単語帳だと、英単語が書かれていて横に日本語が書いてあって、一対一対応で覚えます。単語帳を開いて読み込んだり覚えたりすることが、英語を日本語に一旦直す作業を助長しています。グノの先生は、語源からの捉え方、単語の概念の幅、他の単語とのつながり、筆者がある文脈の中でその単語を選んでいる感覚などを教えてくださいました。先生はよく「アルファベットの羅列ではなくて、単語にはそれぞれの顔つきがあるからそれを見てね」とおっしゃっていました。英語を英語のまま捉える感覚を教えてくださいました。タイトな時間設定もあります。授

業内演習で時間内に速く読むには、和訳しながら読んでいるのは無理でした。授業の環境すべてが、英語を英語のまま理解して、頭から読んでいくようになっていて、僕たちの英語に対するアプローチを変えてくれました。改めて考えてみると、「すごかったな」と思います。僕は高1、高2の頃、勉強に意識は向いているけれど身が入らない状態でした。だから、英文を読んでくる宿題が出て、家でグダグダ解いてしまいました。でも、グノの授業では、時間設定があって周りもみんな集中している環境でした。集中して英文を読む機会を常に持っていたことは大きな経験だったと思います。**鈴木：**他の塾に通う周りの人たちは学校の授業中に内職して宿題を終わらせていたので、僕は「集中して勉強しているのかな？」と疑問に思っていました。グノでは毎週、「この時間でちゃんと集中して読んで考える」という意識を持って演習する機会がありました。集中して解く習慣づく



すずき せい た
鈴木 惺太さん
順天堂大 医・海城

* Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

りを高1から3年間できたのは、当たり前のように当たり前ではなかったのかもしれませんが。

安藤：グノの良さは、その場で演習して、すぐに添削されて、解説も直後です。リアルタイムでフィードバックされることで、自分の思考プロセスと先生の教えを照らし合わせながら授業を受けられました。一番力がつきやり方だと思っています。こうした授業がずっと成立している根底には、先生方の熱意があるのだと思います。

グノーブルの英語の特徴

安藤：他の塾では、大学の過去問を指針として「どう解くか？」を主軸として教えているのだと思います。

グノは、それぞれの先生たちが「生徒たちの英語の力を伸ばすにはどうすれば良いのか？」を主軸にして教えてください。

英語でいろいろなトピックに触れられるのもとても楽しかったです。

僕は高3の夏以降に教材を復習していくうちに、先生が長期的な視点に立って教材を準備されていることにも気づきました。例えば、英語長文の授業でやったことが、次の週の英文法の問題のフレーズ

に入っているなど、様々なところに大切なことが交互に出てきます。

それを復習しながら、先生が言っていた重要なことを見つけるのをクイズのように楽しんでいました。

表面上だけ捉えるのではなく、もっと裏側にまでよく目を向けると、学習できることがまだまだ残っている教材です。僕は「どれだけ教材がつくり込まれているんだろう」と思って、感動したし、面白かったです。

鈴木：もともと英語が好きでしたが、グノの3年間、特に最後の1年間で英文を生き生きと読めるようになって、英語がもっと好きになりました。僕はグノのライブ授業が大好きでした。

安藤：僕もグノのライブ感あふれる授業が大好きだったので、いつも一番前の席に座りました。先生と物理的に近い距離だと、先生の熱意が僕にも伝わってくる感じがあったからです。

鈴木：僕も毎回1、2列目で授業を受けるようにしていました。高1の頃から前のほうで受けることは意識していました。先生は後ろの列の人とも目を合わせて喋っていたと思いますが、やはり1、2列目だと、もっと先生との距離が近くなります。

グノーブルの物理

鈴木：兄は今、物理工学科に通っていますが、その兄がよく「物理に対する考え方やアプローチの仕方が、グノの授業を受けてから変わった」と話していました。僕も、公式にあてはめるだけの勉

強から脱却したかったので、グノの物理に、高2の春から通い始めました。

僕は物理が得意ではなく、基礎的なところから本当に何も分かっていませんでした。だから、毎週の授業後に「ここはどういうことだったんですか？」と質問していました。授業がない日に、1時間半ぐらいぶっ続けで質問対応していただいたこともあります。先生から「伸ばしてあげるよ」という熱意や優しさがすごく伝わってきたのが印象に残っています。

グノでは、「そもそも公式がどういう意味を持つのか？」などを一から教えていただきました。「そもそもこの物理現象は何で起きるのか？」から考える習慣を2年かけてつけてくださった先生に感謝するばかりです。

入試の難問に向かう時も、公式にあてはめるだけでは絶対に解けません。「何が起きているんだろう？」というところからしっかり考える習慣がつくグノの授業は、入試においてもめちゃくちゃ役立ちました。

グノーブルの数学

鈴木：グノ以外は塾に通ってなくて、数学は高2の夏から参考書中心で勉強していました。

秋以降、医学部の志望校別の講座が開かれたので、秋期と直前期でとりました。数学の場合、志望校別に対策を立てておくのはすごく意味があると思います。講習では、「この大学にはこの10題をやいなさい」という問題冊子が配られました。志望校に合わせた傾向や対策を踏まえて、「どの分野をや

るべきなのか？」などがちゃんとまとまっている冊子です。その冊子を何周かして、直前期も勉強して、かなり役に立ちました。

グノーブルの先生

安藤：僕は以前、他塾に通っていたので、「塾の先生という同じ職業なのに、グノと他塾でここまで違うんだ」と感じていました。グノの先生方には、一度で名前を覚えてくださるすごさがあります。授業の迫力や「生徒の力を伸ばしたい」という熱意もいつも伝わってきました。先生が魅力にあふれているところが、僕が「グノーブルで良かった」と思う理由のひとつです。

鈴木：単なる仕事として授業をしているのではなく、生徒一人ひとりを見て、楽しそうに授業をしていらっしゃるのが印象的でした。授業の準備をしている姿にもパッションを感じたくらいです。毎週の添削でもコメントや励ましの言葉をつけてくださって、一人ひとりをちゃんと見てくださるので、授業を受ける側も気持ち良く受けられます。

僕は高3の夏から自習室に行き出しました。自習室を使う時は受付に寄りますが、受付の方は挨拶をしっかりとハキハキしてくださるし、いつも笑顔でニコニコしていました。毎日の挨拶や笑顔のおかげで受験期のストレスが和みました。だから、僕は受付の皆さんにも感謝しています。

みんなが「グノーブルはアットホームな雰囲気」の塾」と言っているのは、先生方ももちろんですし、受付の方々の素晴らしさも要因の

ひとつだと思います。

後輩へのアドバイス

安藤：僕は、入試形態が少し特殊な公募型推薦を利用して、一般入試の少し前に受験しました。他の入試と一番違ったのは、受ける人数が少なく情報量も少なかったことです。僕の場合、みんなが普通に勉強している中で自分だけ受験したので、心の持ちようや勉強の姿勢、志望校へのアプローチ方法など、いろいろな不安が出てきました。

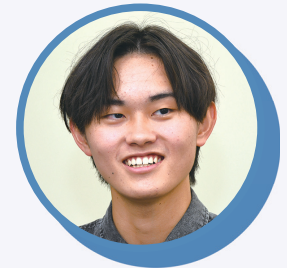
だから、僕は何度もグノに相談させていただきました。グノだと「相談しようかな？」と迷わずに、授業の始まる前や終わったあとでも、スッと聞ける雰囲気があります。これから受験する後輩の皆さんには、気軽に質問するなど、グノの環境のすべてを有効活用してほしいです。

鈴木：分からないことを後回しにしないで、先生方に直接聞いたり、アドバイスを求めたりすることがすごく大事です。

僕の場合は、物理については何も分からないところからのスタートでした。分からないことは後回しにしないで、その都度先生に聞くことを重視して2年間やってきました。

英語も、分からないところは、授業後に先生に聞いたり、メールで質問をしました。聞きやすい環境が整っているのがまさにグノなので、後輩の皆さんにもぜひ活用してもらいたいです。

それから、「親が医者だから」「医者は年収がいいから」「医者はカッコいい」など、そういう抽象的な



イメージだけで医学部を受験する人が少なからずいます。でも、僕は、ちゃんとした理由を持って志高く医学部を志望するのが大事だと思います。

僕もまだ大学で勉強していないので分かりませんが、親の話を聞いていると、実際に勉強や実習はきついことの連続だそうです。だからこそ、生半可な気持ちで医学部を目指してほしくありません。それは、将来の患者さんに対しても失礼だと考えるからです。「自分はどのようにして医師になりたいのか？」を考え直す機会は、医学部を志望する人には絶対に必要だと思います。



進学先大学 学部・科類等	東京 大学 文科1類 進学
出身高校	桐蔭高等学校
メッセージ	Gnobleで勉強の奥深 さを学べました！ 大好きです！

進学先大学 学部・科類等	東京医科歯科大学 医学部 進学
出身高校	海城高校
メッセージ	英語も数学も 最高！！

進学先大学 学部・科類等	東京 大学 理工学部 進学
出身高校	海城高校
メッセージ	Gnobleの授業 は面白い！！

進学先大学 学部・科類等	筑波大学 工学部 進学
出身高校	早稲田 女子学院高等学校
メッセージ	全科目71にゆだねて大正解でした！！ 直前1日前までぐんぐんのびのびで 自分のペースでがんばりつつつくと いいと思います！粘りつよく！

進学先大学 学部・科類等	東京慈恵会医科大学 医学部 進学
出身高校	立教池袋
メッセージ	先生との距離感がとても近く、 全力でサポートしてくれました。 Gnobleの先生や仲間を 信じて、夢を信じて、全力で 突き進め！！

進学先大学 学部・科類等	東京医科歯科大学 医学部 進学
出身高校	桐蔭
メッセージ	グループのおかげで 苦にならずに英語の勉強が できました！

進学先大学 学部・科類等	東京 大学 文科1類 進学
出身高校	女子学院
メッセージ	不安になり、 グノの授業を 思い出せば大丈夫！！

進学先大学 学部・科類等	筑波大学 総合学域群 進学
出身高校	三田国際学園高校
メッセージ	授業受けて楽しい塾！ 受験案いどもの勝ち！！ ありがとうございました。

受験報告日に
いただいた
メッセージ

受験報告日（2024年3月）の記録から
編集者が任意に選んだものです。

進学先大学 学部・科類等	慶應義塾 大学 薬学部 進学
出身高校	吉祥女子
メッセージ	グノの音読を 信じよー！！

進学先大学 学部・科類等	東京工業 大学 生命理工学院 進学
出身高校	豊島岡女子学園
メッセージ	4年間ありがとう ございました！ 楽しかったです。

進学先大学 学部・科類等	早稲田 大学 基幹理工学部 進学
出身高校	開成
メッセージ	英語の授業の、演習と解説の丁寧な ところは確実に力を付けさせてくれました。

進学先大学 学部・科類等	慶応大学 経済学部 進学
出身高校	浅野
メッセージ	グノが無ければ英語がこれほ どまでにできるようにはなれませんでした。 大事なのは英文音読！

進学先大学 学部・科類等	慶應義塾 大学 理工学部 進学
出身高校	普通工学園
メッセージ	5年間本当にありがとう ございました！！ 最後まで楽しい授業でした！ 勉強した分、結果がついてくる と思うので頑張ってください！！

進学先大学 学部・科類等	筑波大学 医学部 進学
出身高校	私立武蔵高校
メッセージ	グループは 最高の学習環境！

進学先大学 学部・科類等	慶応大学 法学部 進学
出身高校	海城
メッセージ	授業が楽しく分かりやすかった！！ グループ長い塾でした！！ 授業の復習をすれば力がつくと思ふ。

受験報告日に
いただいた
メッセージ

受験報告日（2024年3月）の記録から
編集者が任意に選んだものです。

進学先大学 学部・科類等	東京 大学 文理学部 進学
出身高校	駒場東邦
メッセージ	英語も数学も本当に 力がつきました！！ グノを信じてよかったです！

進学先大学 学部・科類等	東京 大学 文科一類 進学
出身高校	桐蔭高校
メッセージ	毎週の授業を楽しみに 日々頑張りました！ 感謝でいっぱい！！

進学先大学 学部・科類等	順天堂大学 医学部 進学
出身高校	海城高校
メッセージ	アットホームな雰囲気の楽しい 塾でした！！ Gnobleを信じて頑張ってください！！ ありがとうございました！！

進学先大学 学部・科類等	慶應義塾 大学 文学部 進学
出身高校	大妻高等学校
メッセージ	Gnoble 大好き!!!♡

進学先大学 学部・科類等	東京 大学 文科2類 進学
出身高校	駒場東邦
メッセージ	Gnoble ありがとう 英語を教えて下さった先生方 本当にありがとうございました！！

進学先大学 学部・科類等	京都 大学 総合人間学 進学
出身高校	三高校
メッセージ	最後まで食らいついて 本当に良かった！



Gnoble

GROUP

知の力を活かせる人に

私たちは、生徒の皆さん一人ひとりと誠実に向き合います。

皆さんが、将来にわたって活躍できる土台となる、

有機的知識・思考力・判断力・コミュニケーション能力・心の強さを
身につけていくことを常に念頭に置いた指導をお約束します。

何より、皆さんの意欲や好奇心といった心の中の火を

無味乾燥な受験勉強で消してしまわない

活き活きとした環境を提供していきます。

大学受験



Gnoble

大学受験 **グループ**

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。
その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、
前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学
ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の
接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環
境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんを
しっかりサポートしていきます。

中学受験



グノーブル

中学受験 **Gnoble**

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選さ
れたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師
陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開
し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。
学習したい教科や志望校別のクラスが選択で
きるなど、中学受験に関するさまざまなご要望
にお応えしていきます。

個別指導



グノリンク

個別指導 **GnoLink**

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性
を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に生
徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制を
提供します。中学受験・大学受験グノーブルと並行
して通うことも可能です。グノーブルオリジナルテ
キスト等も併用しながら、個別に対応します。

子ども
英会話



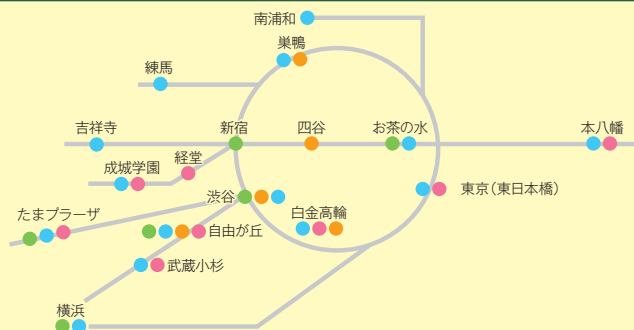
GnoKids

子ども英会話 **グノキッズ**

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、
読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に
生徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に
触れ、親しむことができます。ご家庭での学習
も配慮した教材で、継続的な学習を無理なく行
うことができます。

Gnoble グループ 各校舎所在地



Gnoble
GROUP

大学受験 **グループ**
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グループ**
子ども英会話 **グノキッズ**

グノーブル総合案内

www.gnoble.com